

農001	項目名	ふるさとの味祭り事業費	
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	36
年度	H26	所属名 農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3237		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P142（農001）		
目 農業総務費	【事業の概要】 食のみやこ鳥取県フェスタと自然のめぐみ感謝祭が統合し、今年度から鳥取県東部の食のみやこ鳥取」いなば農産物フェスタとして開催する。		
(単位：千円)	【事業の成果】 本市の特色ある農林水産物に対する消費者の理解を深め、生産者と消費者の交流を図ることにより、安心安全な地元農林水産物及び加工品のPRと地元消費の拡大を促進し農林漁業者の所得の向上を図るため、とっとりイモコンフェスティバルを開催する。		
当初予算額	1,458	■内容 鳥取藩の伝統料理「イモコン鍋」を軸に本市で収穫された農林水産物や加工品及び農林漁業者の手作り料理のPRや販売など、生産者と消費者が一体となって楽しめる地産地消イベントとして収穫祭を開催する。	
補正予算額	0	■事業実績 H24年度 1,620千円（8,700人） H25年度 1,580千円（7,600人） H26年度 1,272千円（18,300人）	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 農林水産物のPRと地産地消を推進するため、継続して実施する。	
最終予算額	1,458	【参考】	
本年度決算額	1,272	評価結果 継続して実施し、農林水産物及び加工品のPRと地元消費の拡大を図る。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0	継続して実施し、農林水産物及び加工品のPRと地元消費の拡大を図る。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,272		
計	1,272		
前年度決算額	1,580		

農002	項目名	ふるさと村推進事業費補助金	
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	36
年度	H26	所属名 農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P142（農002）		
目 農業総務費	【事業の概要】 平成3年度から、アフトピア協会会員の生産した農林水産物や加工品を「ふるさと宅配便」として全国の家庭に届けている。 四季を通じて、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物及び加工品を届けることにより、販売拡大によりむらづくり運動の活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の成果】 9割以上を県外消費者に向けて発送しており、本市と本市産品のPRに寄与している。		
当初予算額	1,168	■内容 ①対象者 ふるさと宅配便申込者と受取人 ②実施回数 年4回（8月、10月、12月、4月） ③宅配品目 鳥取市で生産される農林水産物及び加工品等 ④料金 1個当たり5,000円（4個ごとに1,000円割引）	
補正予算額	0	■事業実績 H24年度 1,123便 H25年度 1,108便 H26年度 1,005便	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 本市の農林水産物のPRと販売拡大を目指し、継続して実施する。	
最終予算額	1,168	【参考】	
本年度決算額	1,168	評価結果 特産品の生産販売促進のため、新商品の開発等事業の拡大を図っていく。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0	特産品の生産販売促進のため、新商品の開発等事業の拡大を図っていく。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,168		
計	1,168		
前年度決算額	1,200		

農003	項目名	農業近代化資金(一般)利子補給金		
主要な施策	農業金融対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P143 (農003)			
目 農業総務費	【事業の概要】 経営規模拡大を目的とした施設整備等の資金が円滑に調達ができるよう、農業生産組合等に対する農業近代化資金利子補給事業を実施した。 ※負担割合：国・県助成後の利率に対して、市4/5・JA1/5を助成 (ただし、上限2.5%まで)			
(単位：千円)	【事業の成果】 農業近代化資金を借受けた農業生産組合等に対し、国・県の利子補給に加えて利子補給を実施した。			
当初予算額	108	分担金	0	平成24年度 125千円 6件
補正予算額	0	負担金	0	平成25年度 103千円 5件
予算流・充用額	0	使用料	0	平成26年度 70千円 3件
最終予算額	108	手数料	0	【今後の課題・方向性】 継続して事業を実施する。
本年度決算額	70	財産収入	0	
区分	決算額	寄付金	0	
財源内訳		繰入金	0	
国・県支出金	0	贈収入	0	
地方債	0	その他	0	
その他	0			
一般財源	70			
計	70			
(参考)		評価結果	利子補給事業を実施することで、資金調達が円滑に行え、安定した農業経営ができるようになるため継続して事業を実施する。	
前年度決算額	102			

農004	項目名	農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子補給金		
主要な施策	農業金融対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P143 (農004)			
目 農業総務費	【事業の概要】 効率的な経営や経営規模拡大を目的とした施設整備等の資金が円滑に調達できるよう、認定農業者を対象とした農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子補給事業を実施した。 ※負担割合：県1/2・市1/2			
(単位：千円)	【事業の成果】 農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対し、県・市で利子助成を実施した。			
当初予算額	1,366	平成24年度決算額	2,349千円	42件
補正予算額	0	平成25年度決算額	1,726千円	41件
予算流・充用額	0	平成26年度決算額	1,196千円	32件
最終予算額	1,366	【今後の課題・方向性】 継続して事業を実施する。		
本年度決算額	1,196			
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	598			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	598			
計	1,196			
(参考)		評価結果	利子補給事業を実施することで、認定農業者の資金調達が円滑に行え、安定した農業経営ができるようになるため継続して事業を実施する。	
前年度決算額	1,640			

農005	項目名	農産物加工センター管理運営費		
主要な施策	農産物加工センター管理運営費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】農政係 0857-20-3232		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P144（農005）		
目	農業総務費	【事業の概要】 農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興と、共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図るために設置された農産物加工施設等の管理運営を行う。		
(単位：千円)		【事業の成果】 農産物加工施設等の修繕等を行い、適切な運営と管理を行った。 主な施設名 (鳥取) 鳥取市農産物加工センター (国府) 大茅地区農産物加工施設、成器地区農産物加工施設 (福部) 福部アイデア館 (用瀬) 社農産物加工施設、大村農産物加工施設 (気高) 農産物加工施設 ○鳥取市農産物加工センター延べ利用者数 平成24年度実績 1,097名 平成25年度実績 1,127名 平成26年度実績 1,091名		
当初予算額	21,878	【今後の課題・方向性】 継続して事業を実施する。		
補正予算額	731			
予算流・充用額	0			
最終予算額	22,609	【参考】		
本年度決算額	22,223	前年度決算額 20,289		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		継続して事業を実施するが、施設毎で利用料等に差があり、統一できるものは統一する等を検討する。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	2,318			
一般財源	19,905			
計	22,223			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	2,318			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収入	0			
その他	0			

農006	項目名	農業青年経営者会議活動費		
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P144（農006）		
目	農業総務費	【事業の概要】 次代の農業を担う農業青年経営者組織に支援を行う。		
(単位：千円)		【事業の成果】 農業青年経営者組織の会議、研修及び先進地視察等の事業に要する経費の1/2を補助 平成24年度実績 95千円 福部町農業青年経営者会議 平成25年度実績 85千円 福部町農業青年経営者会議 平成26年度実績 80千円 福部町農業青年経営者会議		
当初予算額	80	【今後の課題・方向性】 農業青年経営者を支援することは地域農業の振興のため有効であるため、継続して事業を実施する。福部町以外の地域の農業青年経営者の組織化を働きかける。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	80	【参考】		
本年度決算額	80	前年度決算額 85		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		地域農業の振興のため、次代を担っていく農業青年経営者を引き続き支援していくことは必要である。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	80			
計	80			
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収入	0			
その他	0			

農007	項目名	新規就農推進事業費																																																																									
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ	36																																																																							
年度	H26		所 属 名																																																																								
			農林水産部 農業振興課																																																																								
事業の概要																																																																											
【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239																																																																											
【9次総の施策体系】5101																																																																											
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P145（農007）、6月補正予算・P41（農001）																																																																											
【事業の概要】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、平成19年4月に新規就農者技術習得支援施設「とっとりふるさと就農舎」を開設し、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保を行う。																																																																											
【事業の成果】 指定管理するとともに、就農アドバイザーを配置し新規就農者の育成に努めた。また、新規就農相談会等で就農者のPRに努め、新規研修生2名を確保した。 平成24年度実績 2名就農 決算額 7,808千円 平成25年度実績 3名就農 決算額 7,355千円 平成26年度実績 4名就農 決算額 9,123千円																																																																											
【今後の課題・方向性】 農業者等の高齢化、減少等の問題を解決するには、新規就農者の確保が大切であることから、これまでと同水準の事業を実施する。																																																																											
<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>一般会計</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>款</td> <td colspan="2">農林水産業費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td colspan="2">農業費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td colspan="2">農業総務費</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(単位：千円)</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td colspan="2">8,107</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td colspan="2">1,056</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td colspan="2">9,166</td> </tr> <tr> <td>本年度決算額</td> <td colspan="2">9,123</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td colspan="2">決算額</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>9,123</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>9,123</td> </tr> </table>			会計名			一般会計			款	農林水産業費		項	農業費		目	農業総務費		(単位：千円)			当初予算額	8,107		補正予算額	1,056		予算流・充用額	3		最終予算額	9,166		本年度決算額	9,123		区 分	決算額		財源内訳	国・県支出金	0		地方債	0		その他	0		一般財源	9,123		計	9,123	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">他の財源の内訳</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		他の財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収	0	その他	0
会計名																																																																											
一般会計																																																																											
款	農林水産業費																																																																										
項	農業費																																																																										
目	農業総務費																																																																										
(単位：千円)																																																																											
当初予算額	8,107																																																																										
補正予算額	1,056																																																																										
予算流・充用額	3																																																																										
最終予算額	9,166																																																																										
本年度決算額	9,123																																																																										
区 分	決算額																																																																										
財源内訳	国・県支出金	0																																																																									
	地方債	0																																																																									
	その他	0																																																																									
	一般財源	9,123																																																																									
	計	9,123																																																																									
他の財源の内訳																																																																											
分担金	0																																																																										
負担金	0																																																																										
使用料	0																																																																										
手数料	0																																																																										
財産収入	0																																																																										
寄付金	0																																																																										
繰入金	0																																																																										
贈収	0																																																																										
その他	0																																																																										
(参考)			評価結果																																																																								
前年度決算額			7,355																																																																								
			新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な手段であり今後も継続していく。																																																																								

農008	項目名	就農定住円滑化対策事業費																																																																									
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ	36																																																																							
年度	H26		所 属 名																																																																								
			農林水産部 農業振興課																																																																								
事業の概要																																																																											
【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239																																																																											
【9次総の施策体系】5101																																																																											
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P145（農008）																																																																											
【事業の概要】 とっとりふるさと就農舎での研修修了者の円滑な就農定住と早期経営安定のため住宅修繕、就農準備金、家賃助成した。																																																																											
【事業の成果】 平成26年度実績 就農準備金支給事業 2名 400千円 家賃助成助成事業 6名 890千円  平成24年度決算 3,592千円 平成25年度決算 1,653千円 平成26年度決算 1,290千円																																																																											
【今後の課題・方向性】 毎年度順次卒業していく研修生に対応して、継続して事業を実施していく。																																																																											
<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>一般会計</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>款</td> <td colspan="2">農林水産業費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td colspan="2">農業費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td colspan="2">農業総務費</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(単位：千円)</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td colspan="2">2,860</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td colspan="2">△152</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td colspan="2">△1</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td colspan="2">2,707</td> </tr> <tr> <td>本年度決算額</td> <td colspan="2">1,290</td> </tr> <tr> <td>区 分</td> <td colspan="2">決算額</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>956</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1,290</td> </tr> </table>			会計名			一般会計			款	農林水産業費		項	農業費		目	農業総務費		(単位：千円)			当初予算額	2,860		補正予算額	△152		予算流・充用額	△1		最終予算額	2,707		本年度決算額	1,290		区 分	決算額		財源内訳	国・県支出金	334		地方債	0		その他	0		一般財源	956		計	1,290	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">他の財源の内訳</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		他の財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収	0	その他	0
会計名																																																																											
一般会計																																																																											
款	農林水産業費																																																																										
項	農業費																																																																										
目	農業総務費																																																																										
(単位：千円)																																																																											
当初予算額	2,860																																																																										
補正予算額	△152																																																																										
予算流・充用額	△1																																																																										
最終予算額	2,707																																																																										
本年度決算額	1,290																																																																										
区 分	決算額																																																																										
財源内訳	国・県支出金	334																																																																									
	地方債	0																																																																									
	その他	0																																																																									
	一般財源	956																																																																									
	計	1,290																																																																									
他の財源の内訳																																																																											
分担金	0																																																																										
負担金	0																																																																										
使用料	0																																																																										
手数料	0																																																																										
財産収入	0																																																																										
寄付金	0																																																																										
繰入金	0																																																																										
贈収	0																																																																										
その他	0																																																																										
(参考)			評価結果																																																																								
前年度決算額			1,653																																																																								
			新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり今後も継続していく。																																																																								

農009	項目名	就農相談員設置事業費		
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	36	所属名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P146 (農009)			
目 農業総務費	【事業の概要】 就農相談員専門員を配置し、新たに農業を目指す 若者等の確保、就農地及び住宅等の 斡旋によりスムーズな就農定住への支援を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 就農相談員専門員を配置し、研修生2名の確保と卒業生の就農地の確保、住宅の斡旋を 行った。			
当初予算額	3,022	○事業の内容・実績(過去3年)		
補正予算額	0	<実績>		
予算流・充用額	0	平成24年度実績 3,028千円		
最終予算額	3,022	平成25年度決算 3,028千円		
		平成26年度実績 3,022千円		
本年度決算額	3,022	【今後の課題・方向性】 研修生の確保、就農地及び住宅の斡旋等のためには、専任の相談員が必要であり、継続 して実施するとともに、就農舎以外の新規就農者への対応も併せて行う。		
区分	決算額	その他の財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	3,022	財産収入	0	
計	3,022	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	より多くの新規就農者を確保するため就農舎の研修生に限定することなく、事業を改善継続して実施する。	
前年度決算額	3,028			

農010	項目名	新規就農営農支援事業費		
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	36	所属名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P146 (農010)			
目 農業総務費	【事業の概要】 新規就農を目指す青年が、安定して研修及び就農初期の経営を行うことができるよう生 活支援を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	53,165	平成24年度実績 給付対象者 19人 26,262千円		
補正予算額	△7,546	平成25年度実績 給付対象者 29人 34,507千円		
予算流・充用額	0	平成26年度実績 給付対象者 22人 43,055千円		
最終予算額	45,619	【今後の課題・方向性】 青年就農者の定着を図るためには、生活費等の支援が必要であり、これまでと同水準の 事業を実施する。		
本年度決算額	43,055	その他の財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	43,028	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	27	寄付金	0	
計	43,055	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり、今後も継続していく。	
前年度決算額	34,507			

農011	項目名	親元就農促進支援事業費		
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ	36
年度	H26		所 属 名	
			農林水産部 農業振興課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239		
款	農林水産業費		【9次総の施策体系】5101	
項	農業費		【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P147（農011）	
目	農業総務費		【事業の概要】 農業人口の減少を防ぐため、既存農家の後継者が親元で就農することを促進し、農家後継者の育成・確保を図るための支援。	
(単位：千円)		【事業の成果】 平成26年度実績 2名 800千円（平成26年度からの新規事業）		
当初予算額	2,200		【今後の課題・方向性】 青年就農者の定着を図るためには、研修等にかかる経費の支援が必要であり、今後も継続して支援を実施する。	
補正予算額	△ 1,400			
予算流・充用額	0			
最終予算額	800		【今後の課題・方向性】 青年就農者の定着を図るためには、研修等にかかる経費の支援が必要であり、今後も継続して支援を実施する。	
本年度決算額		その他財源の内訳		
800		分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
区分		決算額		
財源内訳	国・県支出金	533		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	267		
計		800		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	0		新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり、今後も継続していく。	

農012	項目名	青年就農給付事業費(経済対策)		
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ	36
年度	H26		所 属 名	
			農林水産部 農業振興課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239		
款	農林水産業費		【9次総の施策体系】5101	
項	農業費		【予算上の経過】 予算事業別概要目次 2月補正予算・P12（農001）	
目	農業総務費		【事業の概要】 新規就農を目指す青年が、安定して研修及び就農初期の経営を行うことができるよう生活支援を行う。	
(単位：千円)		【事業の成果】 平成24年度実績 給付対象者 19人 26,262千円 平成25年度実績 給付対象者 23人 34,507千円 平成26年度(経済対策)実績 給付対象者 22人 26,625千円		
当初予算額	0		【今後の課題・方向性】 青年就農者の定着を図るためには、生活費等の支援が必要であり、これまでと同水準の事業を実施する。	
補正予算額	27,375			
予算流・充用額	0			
最終予算額	27,375		その他財源の内訳	
本年度決算額		分担金	0	
26,625		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
区分		決算額		
財源内訳	国・県支出金	26,625		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	0		
計		26,625		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	0		新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり、今後も継続していく。	

農013	項目名	地域農業を担う人材育成事業費補助金		
主要な施策	農業振興基金事業費	ページ	36	所属名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P148（農013）			
目 農業総務費	【事業の概要】 これからの農業の振興を図る上で重要な地域農業を担うリーダーとなる人材及び農業後継者を育成・確保するため、新規就農者等が新規作物導入に必要な技術の習得等による地域農業を担う人材の育成に資する事業経費（国内における、2週間以内の短期の研修）について助成する。 (1) 対象者 新規就農者及び農業後継者 (2) 補助率 10/10以内 (3) 補助上限 100,000円			
(単位：千円)	【事業の成果】 H24年度 64千円（1件） H25年度 実績なし H26年度 52千円（1件）			
当初予算額 100	【今後の課題・方向性】 継続して実施。			
補正予算額 △6				
予算流・充用額 0				
最終予算額 94	【事業の成果】 H24年度 64千円（1件） H25年度 実績なし H26年度 52千円（1件）			
本年度決算額 52	【今後の課題・方向性】 継続して実施。			
区分 決算額	【事業の成果】 H24年度 64千円（1件） H25年度 実績なし H26年度 52千円（1件）			
財源内訳	【今後の課題・方向性】 継続して実施。			
国・県支出金 0	【事業の成果】 H24年度 64千円（1件） H25年度 実績なし H26年度 52千円（1件）			
地方債 0	【今後の課題・方向性】 継続して実施。			
その他 52	【事業の成果】 H24年度 64千円（1件） H25年度 実績なし H26年度 52千円（1件）			
一般財源 0	【今後の課題・方向性】 継続して実施。			
計 52	【事業の成果】 H24年度 64千円（1件） H25年度 実績なし H26年度 52千円（1件）			
(参考)	【今後の課題・方向性】 継続して実施。			
前年度決算額 0	【事業の成果】 H24年度 64千円（1件） H25年度 実績なし H26年度 52千円（1件）			
評価結果	新規就農者等に対する研修は必要であり有効な事業として、今後も継続して実施していく。			

農014	項目名	農業情報収集のための国内交流事業費補助金		
主要な施策	農業振興基金事業費	ページ	36	所属名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P147（農012）			
目 農業総務費	【事業の概要】 本市の農産物のPR・知名度アップを図るため、国内の姉妹都市及び大都市で開催される直売・展示等で本市の農産物を広く消費者等に紹介する事業に対して助成を行った。 ※補助率 2/3以内（上限300千円）			
(単位：千円)	【事業の成果】 姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。 各団体（らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売） 平成24年度決算額 215千円 平成25年度決算額 151千円 平成26年度決算額 307千円			
当初予算額 304	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通等を背景に、関西圏を中心に販路拡大を検討する団体も多く、継続実施する。			
補正予算額 6				
予算流・充用額 0				
最終予算額 310	【事業の成果】 姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。 各団体（らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売） 平成24年度決算額 215千円 平成25年度決算額 151千円 平成26年度決算額 307千円			
本年度決算額 307	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通等を背景に、関西圏を中心に販路拡大を検討する団体も多く、継続実施する。			
区分 決算額	【事業の成果】 姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。 各団体（らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売） 平成24年度決算額 215千円 平成25年度決算額 151千円 平成26年度決算額 307千円			
財源内訳	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通等を背景に、関西圏を中心に販路拡大を検討する団体も多く、継続実施する。			
国・県支出金 0	【事業の成果】 姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。 各団体（らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売） 平成24年度決算額 215千円 平成25年度決算額 151千円 平成26年度決算額 307千円			
地方債 0	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通等を背景に、関西圏を中心に販路拡大を検討する団体も多く、継続実施する。			
その他 307	【事業の成果】 姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。 各団体（らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売） 平成24年度決算額 215千円 平成25年度決算額 151千円 平成26年度決算額 307千円			
一般財源 0	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通等を背景に、関西圏を中心に販路拡大を検討する団体も多く、継続実施する。			
計 307	【事業の成果】 姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。 各団体（らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売） 平成24年度決算額 215千円 平成25年度決算額 151千円 平成26年度決算額 307千円			
(参考)	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通等を背景に、関西圏を中心に販路拡大を検討する団体も多く、継続実施する。			
前年度決算額 151	【事業の成果】 姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。 各団体（らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売） 平成24年度決算額 215千円 平成25年度決算額 151千円 平成26年度決算額 307千円			
評価結果	生産者が消費者に直接販売することや姉妹都市等での農産物のPRIに有効な事業であり、今後も継続して実施していく。			

農015	項目名	地場野菜生産振興対策事業費補助金		
主要な施策	農業振興基金事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P148（農014）			
目 農業総務費	【事業の概要】 地場野菜の生産力向上のためには、大規模農家だけでなく、女性農業者や、高齢者等の小規模生産者の生産力の向上が必要である。そのため、小規模農家に対し、被覆トンネルの経費等について支援し、地場野菜の生産体制を整備する必要がある。 女性や高齢者を中心とした団体が生きがい対策と直売市等に出荷する野菜等の生産振興のため、共同利用による野菜等の生産に必要な被覆トンネルの設置導入経費に対して助成を行う。 ※補助率 1/2以内			
(単位：千円)	【事業の成果】 実績<H24> 1団体（ビニール被覆トンネル 2セット導入・6セット補修を支援） 実績<H25> 2団体（ビニール被覆トンネル 7セット導入を支援） 実績<H26> 1団体（被覆トンネル 5セットの増設導入を支援）			
当初予算額	400	平成24年度決算額 156千円 平成25年度決算額 157千円 平成26年度決算額 50千円		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 これまでと同水準の事業を継続実施する。		
予算流・充用額	△101			
最終予算額	299	【参考】		
本年度決算額	50	前年度決算額 157		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		野菜生産の拡大に有効な事業であり今後も継続して実施していく。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	50			
一般財源	0			
計	50			

農016	項目名	農山漁村生活体験事業費		
主要な施策	農山漁村生活体験事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P149（農015）			
目 農業総務費	【事業の概要】 農業に関心を持つ県内外に在住する若者等が、農業を体験しながら農村地域で滞在することにより将来の就農定住と地域の活性化を図ることを目的として、とっとりふるさと就農舎と一般農家での就農研修を行っている者に対して、滞在経費・家賃・受入先の助成を行った。			
(単位：千円)	【事業の成果】 平成26年度実績 研修生滞在経費助成（10万円/月） 0人 研修生同伴者滞在経費助成（3万円/人/月） 10人（6世帯） 研修生家賃助成（上限5万円/月） 6人 研修生受入助成（5万円/月） 8人			
当初予算額	12,203	平成24年度決算額 8,504千円（研修生8人（就農舎2年生4人、1年生4人）） 平成25年度決算額 10,008千円（研修生9人（就農舎2年生4人、1年生2人、中途退舎2人、一般農家1年生1人）） 平成26年度決算額 9,633千円（研修生7人（就農舎2年生4人、1年生3人））		
補正予算額	△2,424	【今後の課題・方向性】 新規就農者を育成・確保するため、収入のない農業体験期間中における滞在経費等の助成は必要であり、これまでと同水準の事業を実施する。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	9,779	【参考】		
本年度決算額	9,633	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保及び移住定住に有効な施策であり今後も継続していく。		
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	9,633			
計	9,633			
前年度決算額	10,007			

農017	項目名	農業公社運営事業補助金	
主要な施策	農業公社運営事業補助金	ページ	36
年度	H26	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P149（農016）		
目 農業総務費	【事業の概要】 農地保全及び集積による地域農業の振興と、農村地域の維持発展に寄与することを目的とする農業公社の円滑な運営を図る。		
(単位：千円)	【事業の成果】		
当初予算額 18,236	①農業公社運営補助金 12,636千円		
補正予算額 △3,000	②都市農村交流促進事業 160千円		
予算流・充用額 0	③受託体制整備事業補助金 2,360千円		
最終予算額 15,236	平成24年度実績 20,000千円		
本年度決算額 15,156	平成25年度実績 15,168千円		
	平成26年度実績 15,156千円		
区分 決算額	【今後の課題・方向性】 農業公社の活動は地域農業の振興と農村地域の維持発展のため必要であり、継続して事業を実施する。		
財源内訳	その他の財源の内訳		
国・県支出金 60	分担金 0		
地方債 0	負担金 0		
その他 2,360	使用料 0		
一般財源 12,736	手数料 0		
計 15,156	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 2,360		
	贈収入 0		
	その他 0		
(参考)	評価結果	地域農業の振興と農村地域の維持発展のため農業公社の活動は必要であり、今後も支援を行う。	
前年度決算額 15,168			

農018	項目名	共同利用施設整備等事業費	
主要な施策	共同利用施設整備等事業費	ページ	36
年度	H26	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P150（農017）、6月補正予算・P41（農002）、 9月補正予算・P16（農001）、12月補正予算・P26（農001）		
目 農業総務費	【事業の概要】 地域改善対策事業で設置した農業用施設が市内に複数存在する。「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱方針」に基づいて、処分制限期間の経過した施設を、地元へ貸付・移管を行う。		
(単位：千円)	【事業の成果】		
当初予算額 5,635	■内 容 地元へ施設の貸付・移管を行うため、施設の修繕、工事等を行う。		
補正予算額 12,220	■事業実績 過去3年の修繕及び工事の実績		
予算流・充用額 102	平成24年度 修繕26施設 工事1施設		
最終予算額 17,957	平成25年度 修繕21施設		
本年度決算額 17,951	平成26年度 修繕24施設、工事1施設		
	貸付済み施設		
	平成24年度 9施設		
	平成25年度 8施設		
	平成26年度 9施設		
区分 決算額	【今後の課題・方向性】 地元移管完了まで継続して実施する。		
財源内訳	その他の財源の内訳		
国・県支出金 0	分担金 0		
地方債 0	負担金 0		
その他 249	使用料 75		
一般財源 17,702	手数料 0		
計 17,951	財産収入 174		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		
(参考)	評価結果	地元移管完了まで継続して実施する。	
前年度決算額 7,723			

農019	項目名	経営所得安定対策推進事業費		
主要な施策	水田営農活性化促進事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P151（農019）、9月補正予算・P16（農002）			
目 農業振興費	【事業の概要】 平成23年度から「農業者戸別所得補償制度」が本格実施され、平成25年度から「経営所得安定対策推進事業（直接支払推進事業）」へ名称変更となった。 この経営所得安定対策推進事業（直接支払推進事業）の実施に必要な推進活動のうち、地域農業再生協議会が行う推進活動や要件確認等に必要となる経費を助成する。			
(単位：千円)	【事業の成果】 対象作物ごとの農業者別の生産数量目標の設定、申請書類の配布・回収、対象作物の作付け面積等の確認、農業者情報システム入力、制度の普及・推進等の事務を行う鳥取県農業再生協議会に補助金を交付し経営所得安定対策等事業の円滑化を図った。			
当初予算額 15,000	■事業実績 平成24年度 11,568千円 平成25年度 10,436千円 平成26年度 9,875千円			
補正予算額 △2,471	【今後の課題・方向性】 国の米政策等の動向を注視し、本市の農業振興を図るため継続して実施していく。			
予算流・充用額 0	※その他財源の諸収入は、過年度分補助金返還金			
最終予算額 12,529	【その他財源の内訳】			
本年度決算額 9,875	分担金	0	負担金	0
区分	決算額	使用料	0	手数料
財源内訳	国・県支出金 9,841	財産収入	0	0
地方債	0	寄付金	0	0
その他	34	繰入金	0	0
一般財源	0	贈収	34	0
計	9,875	その他	0	0
(参考)	前年度決算額 10,436	評価結果	今後も継続して実施する。	

農020	項目名	水稲いもち病緊急防除支援事業費		
主要な施策	水田営農活性化促進事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3074			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P26（農002）			
目 農業振興費	【事業の概要】 基幹防除に加え、追加緊急防除を行うことで穂いもち被害を最小限に抑え、大幅な減収と品質低下の防止することで、農家の生産安定、営農意欲の維持向上を図る。 水稲の基幹防除に加え、追加のいもち病防除を行った場合、1回分を対象に薬剤経費を助成する。 ・事業実施主体 農協、農家等 ・補助率 2/3（県1/3、市1/3）			
(単位：千円)	【事業の成果】 取り組み農家 11戸			
当初予算額 0	【今後の課題・方向性】 平成26年度における単年度の緊急支援事業である。			
補正予算額 834	【その他財源の内訳】			
予算流・充用額 0	分担金	0	負担金	0
最終予算額 834	使用料	0	手数料	0
本年度決算額 41	財産収入	0	0	0
区分	決算額	寄付金	0	0
財源内訳	国・県支出金 20	繰入金	0	0
地方債	0	贈収	0	0
その他	0	その他	0	0
一般財源	21			
計	41			
(参考)	前年度決算額 0	評価結果	平成26年度における単年度の緊急支援事業である。	

農021	項目名	米価格低下緊急融資利子助成事業		
主要な施策	水田営農活性化促進事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 所属別事業一覧 2月補正予算・P31 (No. 313)			
目 農業振興費	【事業の概要】 平成26年度において、水稻（主食用米として栽培されたものに限る）を栽培し、米の価格低下、交付金の減額等に伴い米収入が減少した農家等が借り入れた緊急対策資金の利子を5年間助成する。 補助率 県1/3 JAグループ1/3 (2/3) 市1/3 (JAグループ負担分の2/3のうち半分を助成)			
(単位：千円)	【事業の成果】 平成26年度融資実績 融資農家 20戸 融資金額 48,700,000円 利子助成額 77,297円			
当初予算額 0	【今後の取り組み】 平成31年度までの5年間の実施			
補正予算額 477	【事業の成果】 平成26年度融資実績 融資農家 20戸 融資金額 48,700,000円 利子助成額 77,297円			
予算流・充用額 0	【今後の取り組み】 平成31年度までの5年間の実施			
最終予算額 477	【事業の成果】 平成26年度融資実績 融資農家 20戸 融資金額 48,700,000円 利子助成額 77,297円			
本年度決算額 77	【今後の取り組み】 平成31年度までの5年間の実施			
区分	決算額	【事業の成果】 平成26年度融資実績 融資農家 20戸 融資金額 48,700,000円 利子助成額 77,297円		
国・県支出金 0	0	【今後の取り組み】 平成31年度までの5年間の実施		
財源内訳	地方債 0	【事業の成果】 平成26年度融資実績 融資農家 20戸 融資金額 48,700,000円 利子助成額 77,297円		
その他 0	0	【今後の取り組み】 平成31年度までの5年間の実施		
一般財源 77	77	【事業の成果】 平成26年度融資実績 融資農家 20戸 融資金額 48,700,000円 利子助成額 77,297円		
計 77	77	【今後の取り組み】 平成31年度までの5年間の実施		
(参考)	前年度決算額 0	評価結果 借入れから5年間に限り利子助成を行う制度である。		

農022	項目名	市民農園設置事業費		
主要な施策	市民農園設置事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P151 (農020)			
目 農業振興費	【事業の概要】 (目的) 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供する。 ・7地区(里仁・布勢・滝山・叶・祢宜谷・湖山・吉岡)の農園を希望者に貸出す。 ・開設区画数：全494区画(66㎡：158区画、33㎡：336区画) ・市民農園開設年度 里仁地区：S53年度、滝山・叶地区：S63年度、祢宜谷地区：H4年度、 布勢地区：H7年度、湖山地区：H18年度、吉岡地区：H20年度			
(単位：千円)	【事業の成果】 ・区画利用率 H23年度 95.7% (473区画/494区画) H24年度 93.1% (460区画/494区画) H25年度 93.5% (461区画/494区画) H26年度 94.1% (464区画/494区画)			
当初予算額 1,712	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料			
補正予算額 0	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料			
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料			
最終予算額 1,712	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料			
本年度決算額 1,622	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料			
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料		
国・県支出金 0	0	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料		
財源内訳	地方債 0	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料		
その他 1,322	1,322	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料		
一般財源 300	300	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料		
計 1,622	1,622	【今後の課題・方向性】 市が運営管理する現在の市民農園の開設スタイルを、今後は民間開設も視野に入れた新たな運営方針などを取り入れ、より市民ニーズに合った市民農園を目指していく。 ※その他財源の諸収入は、市民農園利用料		
(参考)	前年度決算額 1,652	評価結果 今後は運営管理主体を市から民間団体等へ移行していくことで、より市民ニーズに対応できる体制を構築し、これまで市が主体となっていることで維持管理に必要な費用を圧縮していく方針で検討。		

農023	項目名	地域米消費拡大対策事業費		
主要な施策	米消費拡大事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P152（農021）			
目 農業振興費	【事業の概要】 米の消費量が年々減少しており、我が国の食料事情及び伝統的な主食である米の大切さを知る機会を提供し、学校教育分野で、米の消費拡大及び食育の推進を図る。このため小学校で実施される「米づくり体験」、及び「米料理教室」に対して助成を行う。			
(単位：千円)	(1) 米づくり体験学童農園 委託先：各小学校PTA等			
当初予算額	1,383	(2) 米料理教室（米づくり体験学童農園実施校対象） 委託先：鳥取市食育推進委員会		
補正予算額	0	【事業の成果】		
予算流・充用額	0	(1) 米づくり体験学童農園実施校 H24年度：23校 H25年度：22校 H26年度：21校		
最終予算額	1,383	(2) 米料理教室実施回数 H24年度：27回 H25年度：26回 H26年度：26回		
本年度決算額	1,174	【今後の課題・方向性】 より多くの小学校に取組んでもらえるよう、関係機関と連携をとりながら啓発活動を進めていく必要がある。事業としては学校等からのニーズがあるため継続して実施していく方向。		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳		前年度決算額 1,248		
国・県支出金	440	評価結果		
地方債	0	小学校の近隣に農地がない、指導者がいないという理由で体験学童農園等を実施できていない学校に対し、関係部署と連携を取りながら農地提供等の斡旋をする必要がある。		
その他	0			
一般財源	734			
計	1,174			

農024	項目名	果樹等安定生産支援事業費補助金		
主要な施策	果樹等安定生産支援事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P152（農022）			
目 農業振興費	【事業の概要】 本市の代表的農産物である梨をはじめとする柿、ぶどうの生産農家について、農家数、生産量が減少し続けている。高齢化による廃園が大きな原因の一つだが、単に翌年から辞めようとして辞められる農家だけではなく、気象条件が悪ければ収量は下がり、台風が来たら収量が下がり、栽培管理の徹底をしても所得につながらないことで次年度に向けた生産意欲がなくなってしまい辞められる農家も多い。こういった中で、共済加入により、所得減少を最小限に抑え、次年度への栽培意欲を向上させ、離農を食い止めることが産地の維持につながるため、共済掛金の一部助成により、共済加入促進を行う。			
(単位：千円)	■内容 果樹及び大豆共済に加入するための掛金のうち1.625/10を補助。 果樹：国 50% 市 16.25% 農家 33.75% 大豆：国 55% 市 16.25% 農家 28.75%			
当初予算額	2,371	【事業の成果】		
補正予算額	0	■事業実績		
予算流・充用額	0	◎果樹共済補助金（市） H24年度 2,002千円 H25年度 2,123千円 H26年度 2,135千円		
最終予算額	2,371	◎大豆共済補助金（市） H24年度 431千円 H25年度 248千円 H26年度 198千円		
本年度決算額	2,333	【今後の課題・方向性】 共済加入により、災害時等の所得減少を最小限に抑え、次年度への栽培意欲を向上させ、離農を食い止めることが産地の維持につながる必要があるため、継続して実施していく。		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳		前年度決算額 2,370		
国・県支出金	0	評価結果		
地方債	0	気象災害等に影響を受けやすい果樹等において、共済加入は農業収入を確保するうえで重要な手段であり、今後も共済加入の推進を図っていくため、継続して支援を行っていく。		
その他	0			
一般財源	2,333			
計	2,333			

農025	項目名	果樹振興対策事業費		
主要な施策	園芸産地づくり事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P153（農023）、9月補正予算・P17（農003）		
目	農業振興費	【事業の概要】 梨・柿等の新品種等の新改植に係る経費や果樹棚等の施設整備に係る経費に対し支援していただくことで、果樹生産の総合的な振興を図る。		
(単位：千円)		【事業の成果】		
当初予算額	29,410	(1) 果樹振興対策事業《単市》【対象品種は新品種・振興品種以外】 ・梨剪定作業労力軽減のため電動剪定ばさみ購入に係る支援 受益面積1,161a ・桃品質向上のための防蟻灯導入経費に係る支援 受益面積20a		
補正予算額	2,806	(2) 鳥取梨生産振興事業 ・梨の新品種の導入とそれに伴う基盤整備に係る経費の支援 受益面積 249a		
予算流・充用額	0	(3) 鳥取柿ぶどう等生産振興事業（柿、ぶどう等の振興） ・柿やぶどう等の振興品種の導入とそれに伴う基盤整備に係る経費の支援 受益面積 55.6a		
最終予算額	32,216	事業の実績 平成24年度 4,779千円 平成25年度 17,640千円 平成26年度 22,073千円		
本年度決算額	22,073	【今後の課題・方向性】 近年、生産者の高齢化・後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少を続けている現状の中、果樹生産の総合的な振興を図るため、今後も支援を継続していく。		
区分	決算額	【評価結果】 近年、生産者の高齢化・後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少を続けている現状の中、果樹生産の総合的な振興を図るため、今後も支援を継続していく。		
財源内訳				
国・県支出金	20,695			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	1,378			
計	22,073			
(参考)	前年度決算額	17,640		

農026	項目名	霜害対策関連事業費		
主要な施策	園芸産地づくり事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室生産振興係 0857-20-3234		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P17（農004）		
目	農業振興費	【事業の概要】 霜被害により柿梨等の結実が不良となった果樹園において、緊急防除を行って病害虫の蔓延を防ぎ、生産安定と生産者の営農意欲及び産地の維持・向上を図る。		
(単位：千円)		【事業の成果】		
当初予算額	0	(1) 平成26年度柿梨等霜害対策緊急支援事業 柿梨等の緊急防除に要する経費（農薬代）への助成 ・助成金額 10aあたり2,600円の定額助成 殺菌剤、殺虫剤各1剤の農薬代10aあたり3,900円の2/3助成		
補正予算額	9,542	(2) 柿梨等霜被害再発防止事業 近年被害が頻発している霜害を未然に防ぐため、防霜ファン等の設備を導入する経費に対し支援を行う。（補助率：県1/2、市1/6）		
予算流・充用額	0	【事業の成果】		
最終予算額	9,542	(1) 鳥取市全域の被害があった果樹園 6,976アール、209戸の農家に対し支援を行い営農意欲の向上を図った。		
本年度決算額	9,541	(2) 鳥取市内 5農家が実施した防霜ファン・防霜スプリンクラー設置費用に対し支援を行った。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 平成26年度のみ事業であるが、平成27年度以降は県と連携し、霜被害再発防止に係る支援を検討していく。		
財源内訳				
国・県支出金	6,702			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,839			
計	9,541			
(参考)	前年度決算額	0		
		【評価結果】 平成26年度のみ事業であるが、平成27年度以降は県と連携し、霜被害再発防止に係る支援を検討していく。		

農027	項目名	米粉活用普及推進事業費		
主要な施策	地産地消推進事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P153（農024）			
目 農業振興費	【事業の概要】 米粉パンを定期的に学校給食で供給することで、米粉の普及を図り、米の消費・生産拡大を狙い、耕作放棄地の解消と水田の有効利用を推進することを目的とし、県産米を使用した米粉パンの回数増に伴う米粉パンと小麦粉パンの経費の差額を助成。 実施期間 平成24年度～平成26年度（3年間） 補助対象事業者 公益財団法人鳥取県学校給食会			
(単位：千円)	【事業の成果】 H24年度 (237,235食) H25年度 (230,524食) H26年度 (301,956食)			
当初予算額	4,611	【今後の課題・方向性】 平成26年度末をもって廃止。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,611	【事業の成果】 H24年度 (237,235食) H25年度 (230,524食) H26年度 (301,956食)		
本年度決算額	4,004	【今後の課題・方向性】 平成26年度末をもって廃止。		
区分	決算額	その他の財源の内訳		
財源内訳		分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	4,004	財産収入	0	
計	4,004	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	要綱上26年度末をもって廃止	
前年度決算額	4,067			

農028	項目名	特別栽培農産物生産振興事業費		
主要な施策	特別栽培農産物生産振興事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P154（農025）			
目 農業振興費	【事業の概要】 特別栽培農産物の生産・出荷に対して支援を行う生産振興			
(単位：千円)	【事業の成果】 特別栽培米9,976袋、特別栽培農産物等（米を除く）19.5haに対して支援を行い、特別栽培農産物の生産振興を図った。			
当初予算額	5,000	【今後の課題・方向性】 消費者ニーズの高い安全・安心な減化学肥料米の生産・出荷を促進し、鳥取産米のブランド化を図るため、また、環境に優しい農業への取り組みを推進するため、特別栽培農産物の生産・出荷に対して支援を行う必要がある。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	5,000	その他の財源の内訳		
本年度決算額	3,702	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	3,702	繰入金	0	
計	3,702	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	減農業、減化学肥料等で生産された安心安全な農産物のニーズは高く、取り組み拡大に向け検討していくことが必要と考える。	
前年度決算額	4,190			

農029	項目名	地域特産品振興対策事業費		
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P154（農026）			
目 農業振興費	【事業の概要】 市内各地で生産されており、作付が拡大しているブロッコリー・アスパラガス・生姜の市場等への出荷に対して支援することで、市場等への出荷量を確保し本市農産物の特産品化を図る。 作付拡大しているブロッコリー・アスパラガス・生姜に対する出荷奨励。 (作物ごとに定めた単価に出荷数量を乗じる) 【振興作物】 ブロッコリー 65円/kg、アスパラガス 110円/kg 生姜 5円/kg、JA保管施設を利用した生姜 25円/kg			
(単位：千円)	【事業の成果】 JAを経由して出荷を行った、ブロッコリー(25,508.1kg)、アスパラガス(15,351.25kg)、生姜(6,244.25kg)、JA保管施設を利用した生姜(4,554kg)に対して支援を行った。			
当初予算額	3,839	【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施するとともに、地域特産品のさらなる推進と生産振興を図る。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,839	【事業の内訳】		
本年度決算額	3,492	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 3,492			
	計 3,492			
(参考)	前年度決算額 7,612	評価結果 地域特産品のさらなる推進と生産拡大を図るとともに、振興作物の検討を行いながら今後も継続して実施する。		

農030	項目名	みんなでやらいや農業支援事業費		
主要な施策	みんなでやらいや農業支援事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P156（農029）			
目 農業振興費	【事業の概要】事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。 補助率：ハード 県1/3、市1/6 ソフト 県1/2、市1/6			
(単位：千円)	【事業の成果】〇がんばる農家プラン 鳥取(1件)種こけ他 河原(1件)コンバイン 気高(1件)田植機他 鹿野(2件)種生姜、そば種子他 JA(1件)白ねぎ育苗ハウス他 上記の事業に対し助成を行い、農業者の所得向上への取り組みと地域農業の振興を図った。			
当初予算額	16,827	事業の実績 H24年度 24,606千円、H25年度 17,422千円、H26年度 9,927千円		
補正予算額	△2,909	【今後の課題・方向性】 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し引き続き支援を行い、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図っていく。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	13,918	【事業の内訳】		
本年度決算額	9,927	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 6,695			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 3,232			
	計 9,927			
(参考)	前年度決算額 17,422	評価結果 本市では農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下である。その中で、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し引き続き支援を行い、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図っていく。		

農031	項目名	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費補助金		
主要な施策	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P156（農030）			
目 農業振興費	【事業の概要】 ブランド農産物を一般の農産物と差別化することにより、販売力の強化と、鳥取のネームバリューを高め、本市の農業振興を図る。 (1)登録マーク活用支援事業 ブランド農産物に貼付する登録マークのシールに係る印刷製本費を補助 補助率 1/2 上限 100,000円×1/2=50,000円 (2)開発・宣伝支援事業 ブランド農産物の商品開発又は宣伝するために要する経費を補助 補助率 1/2 上限 150,000円×1/2=75,000円 (3)高度生産支援事業 生産力・品質向上のために必要な備品・機械購入費 補助率 1/2 上限 500,000円×1/2=250,000円			
(単位：千円)	【事業の成果】 H24年度：2団体 H25年度：2団体 H26年度：1団体			
当初予算額	375	【今後の課題・方向性】 これまで認証品目を増やしていくことに関わっていたため、ブランドとしての品質が伴っていないことが課題。今後は認証制度の見直しを行うとともに、他事業との連携を図りながら少量でも高品質で物語性のある農産物等の発掘が必要である。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	375	その他の財源の内訳		
本年度決算額	30	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	30			
計	30			
(参考)		評価結果	認証制度の見直しを行うとともに、他事業との連携を図りながら少量でも高品質で物語性のある農産物等の発掘が必要である。	
前年度決算額	97			

農032	項目名	農産物販路拡大支援事業費		
主要な施策	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3074			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算措置の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P157（農031）、6月補正予算・P42（農003）			
目 農業振興費	【事業の概要】 ①関西圏において、プチ・マルシェ事業のPR強化、グリーンマーケット、イルオットマルシェによる農産物等の販売・PR強化を図ることで、更なる販路開拓・拡大、生産者意欲向上を図る。また、本市の農産物等の魅力を発信することで、『来てもらう農業、体験してもらう農業』へ繋げていけるよう図る。 ②農業公社に専門職員を配置し、PR活動と販路情報の収集、生産者への商談支援する事業を委託する。これにより公社、生産者等に直接消費者の声を肌で感じてもらい、今後の生産や販売に繋げる。 ③本市のプチ・マルシェ事業展開店舗の開拓・管理等、またグリーンマーケット、イルオットマルシェの生産者調整等を委託することで、事業展開の円滑化を図り、生産者自立へ向けて取組を進める。			
(単位：千円)	【事業の成果】 ・グリーンマーケット等参加農家数 70件 ・売上金額 5,021千円 ・その他、東京の店舗とのらっきょう取引や大阪朝日ビルディングとの直接取引につなげることができた。 ・平成26年12月には鳥取市情報発信拠点「ととりのまんま」が朝日ビルディング（大阪市北区中之島）にオープンし、グリーンマーケットとの相乗効果も生まれた。			
当初予算額	11,247	【今後の課題・方向性】 平成24年度から26年度まで実施してきたが、農家の営農意欲の向上や所得向上が図られるなど一定の効果はあった。平成27年度以降は単なる物売りではなく、関西圏でのニーズ調査等を実施し、大口取引が実現するような取り組みを行っていく。		
補正予算額	482			
予算流・充用額	0			
最終予算額	11,729	その他の財源の内訳		
本年度決算額	11,266	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	2,140	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	2,140			
一般財源	9,126			
計	11,266			
(参考)		評価結果	平成24年度から26年度まで実施してきたが、農家の営農意欲の向上や所得向上が図られるなど一定の効果はあった。平成27年度以降は単なる物売りではなく、関西圏でのニーズ調査等を実施し、大口取引が実現するような取り組みを行っていく。	
前年度決算額	8,566			

農033	項目名	とっとり発！6次産業化総合支援事業費																																							
主要な施策	とっとり発！6次産業化総合支援事業費	ページ	36																																						
年度	H26	事業の概要																																							
<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般会計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>農林水産業費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>農業費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>農業振興費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(単位：千円)</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td>11,574</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△ 3,545</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算流・充用額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>8,029</td> </tr> <tr> <td>本年度決算額</td> <td>7,650</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>6,110</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,650</td> </tr> </table>		会計名		一般会計		款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	(単位：千円)		当初予算額	11,574	補正予算額	△ 3,545	予算流・充用額			0	最終予算額	8,029	本年度決算額	7,650	区分	決算額	財源内訳		国・県支出金	6,110	地方債	0	その他	0	一般財源	1,540	計	7,650	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算・P158（農033）</p> <p>【事業の概要】          《農家が取り組む6次産業化推進事業》          事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。補助率 1/2（内訳：県1/3 市1/6）</p> <p>【事業の成果】          鳥取（2件）播種機、梨ゼリー加工機材他          鹿野（1件）有機肥料散布機他</p> <p>事業の実績          H24年度 10,382千円、H25年度 13,834千円、H26年度 7,650千円</p> <p>【今後の課題・方向性】農林水産物価格が低迷傾向にある中、農林漁業者の所得確保の手段のひとつとして6次産業化（農商工連携）の取組が有効と考えられるが、農林漁業者の主体的な6次産業化への取組には、新たな加工機械導入等の大きな投資が必要となるため、平成27年度も引き続き取り組みに対する支援を行っていく。</p>	
会計名																																									
一般会計																																									
款	農林水産業費																																								
項	農業費																																								
目	農業振興費																																								
(単位：千円)																																									
当初予算額	11,574																																								
補正予算額	△ 3,545																																								
予算流・充用額																																									
	0																																								
最終予算額	8,029																																								
本年度決算額	7,650																																								
区分	決算額																																								
財源内訳																																									
国・県支出金	6,110																																								
地方債	0																																								
その他	0																																								
一般財源	1,540																																								
計	7,650																																								
所属名	農林水産部 農業振興課																																								
(参考)	前年度決算額	13,834	評価結果																																						
			平成27年度以降も継続して実施																																						

農034	項目名	魅力ある中山間特産物等育成支援事業費																																							
主要な施策	魅力ある中山間特産物等育成支援事業費	ページ	36																																						
年度	H26	事業の概要																																							
<table border="1"> <tr> <td>会計名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般会計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>款</td> <td>農林水産業費</td> </tr> <tr> <td>項</td> <td>農業費</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>農業振興費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(単位：千円)</td> </tr> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,853</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>△ 1,758</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算流・充用額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>3,095</td> </tr> <tr> <td>本年度決算額</td> <td>1,937</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>507</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,430</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,937</td> </tr> </table>		会計名		一般会計		款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費	(単位：千円)		当初予算額	4,853	補正予算額	△ 1,758	予算流・充用額			0	最終予算額	3,095	本年度決算額	1,937	区分	決算額	財源内訳		国・県支出金	507	地方債	0	その他	0	一般財源	1,430	計	1,937	<p>【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234</p> <p>【9次総の施策体制】5101</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算・P158（農034）</p> <p>【事業の概要】          地域の特色を活かした魅力ある特産物の導入や特産品の開発、耕作放棄地の再生等に必要経費を支援することで、兼業農家や定年帰農者などの新たな担い手の育成を図り、中山間地の活性化と、農地の保全を目指す。また、第9次総合計画の中で重点推進作物としてあげられているアスパラガスの生産拡大を目指す取り組みについて支援する。</p> <p>①特産物の導入や特産品の開発経費支援事業          ○事業対象者 JA、集落、生産グループ等（認定農業者、法人は除く）          ○補助対象 ハード事業：パイプハウス等の購入またはリースに要する経費          自己所有の耕作放棄地の再生利用に要する経費          ソフト事業：農産物の試作、商品開発に必要な経費、販路開拓、宣伝等に必要経費、視察、調査等に係る経費          ○補助率 1/2（県1/3、市1/6）※任意          2/3（県1/2、市1/6）※任意：耕作放棄地の再生利用の場合</p> <p>②アスパラ生産拡大支援事業（市単独）          ○事業対象者 アスパラの生産規模拡大を目指す生産者          ○補助対象 アスパラの作付に要する圃場整備（溝堀）、資材等（補助率：1/3）</p> <p>③直売所販売促進等支援事業（市単独）          ○事業対象者 直売所運営協議会          ○補助対象 残留農産物検査試菜          ○補助率 1/2（市単独）</p> <p>【事業の成果】          耕作放棄地等の再生により、生産面積の拡大と、農地保全を図ることができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】今後も継続して実施していくが、より多くの農業者が取り組める内容に改善していく必要がある。</p>	
会計名																																									
一般会計																																									
款	農林水産業費																																								
項	農業費																																								
目	農業振興費																																								
(単位：千円)																																									
当初予算額	4,853																																								
補正予算額	△ 1,758																																								
予算流・充用額																																									
	0																																								
最終予算額	3,095																																								
本年度決算額	1,937																																								
区分	決算額																																								
財源内訳																																									
国・県支出金	507																																								
地方債	0																																								
その他	0																																								
一般財源	1,430																																								
計	1,937																																								
所属名	農林水産部 農業振興課																																								
(参考)	前年度決算額	2,084	評価結果																																						
			平成27年度から園芸産地活力増進事業へ継承。ただしアスパラ生産拡大支援事業（市単独）と、直売所販売促進等支援事業（市単独）は平成27年度から農産物生産振興対策等総合支援事業へ継承。																																						

農035	項目名	地域米販売拡大支援事業費		
主要な施策	地域米販売拡大支援事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算措置の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P159（農035）			
目 農業振興費	【事業の概要】 JA鳥取いなばが運営する老朽化したライスセンターの再整備を行うことで、地域の特別栽培米等特色ある米や安心安全な米の集荷量の増量が見込まれ、地域の『冠米』として産地表示販売を行うことで優良企業との高値取引や直販率のアップに繋げることで、生産農家の生産意欲や所得の向上を図る。 ライスセンター施設改修経費に対する支援 補助率：1/3（上限10,000千円）			
(単位：千円)	【事業の成果】 国府ライスセンターの再整備を行い、集荷量の向上を図った。			
当初予算額 10,000	【今後の課題・方向性】 今後は地域の『冠米』の乾燥等の拠点として、ライスセンターを年次的に改修し、米の有利販売を推進することで、生産農家の生産意欲や所得の向上を目指していく。			
補正予算額 △1,234				
予算流・充用額 0				
最終予算額 8,766	【評価結果】 今後は地域の『冠米』の乾燥等の拠点として、ライスセンターを年次的に改修し、米の有利販売を推進することで、生産農家の生産意欲や所得の向上を目指していく。			
本年度決算額 8,766	その他財源の内訳			
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	0	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	8,766	財産収入	0	
一般財源	0	寄付金	0	
計	8,766	繰入金	8,766	
		贈収金	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額 0				

農036	項目名	畜産振興対策事業費		
主要な施策	畜産振興対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P159（農036）			
目 畜産業費	【事業の概要】 優良な牛を育てる農家に対し一部助成することにより畜産振興を図るとともに「困幅和牛」の知名度を上げ消費拡大を図ることを目的とする 1. 肉用牛放牧奨励事業：公共放牧場に放牧される繁殖牛の放牧料の一部を助成。 放牧料支援 補助率：市1/10 2. 肥育素牛安定導入対策事業：JAが肥育農家に肥育を目的として素牛を貸付けた時の導入から出荷までの利息の一部を助成 補助率：市1/6 3. 肥育牛・乳用牛経営体質強化対策事業：配合飼料の購入にあたり、当該年度の平均価格と直近3ヶ年度の平均価格との差額を補填する 補助率：市1/20			
(単位：千円)	【事業の成果】 H24年度 放牧奨励12人 肉用牛肥育経営体質強化対策10人 肥育素牛安定導入対策9人 H25年度 放牧奨励14人 肉用牛肥育経営体質強化対策7人 肥育素牛安定導入対策8人 H26年度 放牧奨励8人 肉用牛肥育経営体質強化対策20人 肥育素牛安定導入対策8人			
当初予算額 3,139	【今後の課題・方向性】 畜産農家の経営安定と、消費者に高品質な牛肉を提供できるよう今後も継続して支援をしていく。			
補正予算額 0				
予算流・充用額 0				
最終予算額 3,139	【評価結果】 畜産農家の経営安定と、消費者に高品質な牛肉を提供できるよう今後も継続して支援をしていく。			
本年度決算額 2,622	その他財源の内訳			
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	0	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	2,622	寄付金	0	
計	2,622	繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額 4,228				

農037	項目名	和牛再生促進事業費		
主要な施策	畜産振興対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P160（農037）		
目	畜産業費	【事業の概要】 畜産を取り巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の畜産経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力をアップを図ることを目的とする。 (1) 優良雌牛導入支援事業 高能力和牛雌子牛を生産者が繁殖雌牛として導入する経費を助成 補助率：1/6 (2) 優良雌牛増頭支援（県外雌牛導入支援） 優良雌牛を県外から導入する経費の一部助成 定額：26千円/頭		
(単位：千円)		【事業の成果】 (1) 優良雌牛導入支援事業 H24年度 6頭 H25年度 12頭 H26年度 27頭 (2) 優良雌牛増頭支援（県外雌牛導入支援） H24年度 0頭 H25年度 2頭 H26年度 1頭		
当初予算額	276	【今後の課題・方向性】 今後も優秀な雌牛は県内に保留し因幡和牛のブランド化を高める必要があるため、継続して事業を継続していく。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	276	【参考】		
本年度決算額	275	評価結果 今後も優秀な雌牛は県内に保留し因幡和牛のブランド化を高める必要があるため、継続して事業を継続していく。		
区分		その他財源の内訳		
決算額		分担金 0		
財源内訳	国・県支出金 0	負担金 0		
	地方債 0	使用料 0		
	その他 0	手数料 0		
	一般財源 275	財産収入 0		
計	275	寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収金 0		
		その他 0		
前年度決算額	1,535			

農038	項目名	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金		
主要な施策	畜産振興対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P160（農038）		
目	畜産業費	【事業の概要】 鳥取地どりを地域特産物として位置づけ、産地育成のために生産基盤強化を行い、計画的な生産並びに消費拡大を図ることを目的とする。 ■啓発宣伝支援 テント等の移動用販促資材にかかる費用、各種イベントでの宣伝会にかかる費用の一部を助成 ・補助率 市1/3 ■地どり増産育成支援 地どりを5000羽以上生産する際、雛購入、飼料代に係る費用の一部を助成 ・補助率 市1/3		
(単位：千円)		【事業の成果】 H25年度 7,572羽飼養 H26年度 8,072羽飼養		
当初予算額	3,344	【今後の課題・方向性】 県東部の地どり生産者が増加し、生産規模拡大に取り組むにあたり、平成24年度末に食鳥処理施設が新築され、益々の鳥取地鶏ピヨのブランド力アップが課題となっている。一旦27年度をもって、雛購入と飼料代への支援は廃止し、啓発宣伝のほうに力を入れて行きたい。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,344	【参考】		
本年度決算額	3,150	評価結果 飼養羽数は一定の水準に到達したため、今後は啓発宣伝に力を入れていく。		
区分		その他財源の内訳		
決算額		分担金 0		
財源内訳	国・県支出金 0	負担金 0		
	地方債 0	使用料 0		
	その他 0	手数料 0		
	一般財源 3,150	財産収入 0		
計	3,150	寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収金 0		
		その他 0		
前年度決算額	2,985			

農039	項目名	農地集積等対策事業費			
主要な施策	地域農政推進対策事業費	ページ	37	所 属 名	
年度	H26	農林水産部 農業振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238				
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101				
項 農業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P161（農039）、6月補正予算・P42（農004）				
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 平成24年度より国の戸別所得補償経営安定推進事業を活用し全市域の各集落を対象として人・農地プランを作成する。 合意形成を図りながら人・農地プランを作成することで、地域の担い手や農地の利用調整を推進。				
(単位：千円)	【事業の成果】 人・農地プラン作成に係る活動 ①人・農地プラン作成地域 14地域 ②人・農地プランを作成した集落 89集落				
当初予算額 15,561	<実績> 平成24年度決算額 901千円 平成25年度決算額 7,475千円 平成26年度決算額 1,724千円				
補正予算額 △13,495	【今後の課題・方向性】 国事業に合わせて実施				
予算流・充用額 0	【事業の成果】 人・農地プラン作成に係る活動 ①人・農地プラン作成地域 14地域 ②人・農地プランを作成した集落 89集落				
最終予算額 2,066	その他の財源の内訳				
本年度決算額 1,724	分担金	0			
区分	決算額	負担金	0		
財源内訳	国・県支出金 1,666	使用料	0		
	地方債 0	手数料	0		
	その他 0	財産収入	0		
	一般財源 58	寄付金	0		
計	1,724	繰入金	0		
		贈収入	0		
		その他	0		
(参考)	評価結果				
前年度決算額 7,475	継続して実施し、地域の問題解決に向けての話し合いを行うことで、高齢化、後継者不足、農地の有効活用について集落内での共通認識が図られ、地域の活性化と持続可能な農業の実現を図る。				

農040	項目名	農地集積・集約化対策事業費			
主要な施策	地域農政推進対策事業費	ページ	37	所 属 名	
年度	H26	農林水産部 農業振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238				
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101				
項 農業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P43（農005）				
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 平成24年度より国の戸別所得補償経営安定推進事業を活用し全市域の各集落を対象として人・農地プランを作成している。 この人・農地プランに位置づけられた担い手への農地集積などに対する支援制度。				
(単位：千円)	【事業の成果】 人・農地に基づいて担い手への農地集積に協力した農家への協力金事業 平成26年度実績 5,064千円 ①地域集積協力金 3,842千円（1,372a） ②経営転換協力金 1,000千円（158a） ③耕作者集積協力金 218千円（109a） ④事務費 4千円				
当初予算額 0	【今後の課題・方向性】 国事業に合わせて実施				
補正予算額 5,150	※その他財源の諸収入は、鳥取県農業農村担い手育成機構からの業務委託負担金				
予算流・充用額 0	その他の財源の内訳				
最終予算額 5,150	分担金	0			
本年度決算額 5,064	負担金	0			
区分	決算額	使用料	0		
財源内訳	国・県支出金 5,060	手数料	0		
	地方債 0	財産収入	0		
	その他 4	寄付金	0		
	一般財源 0	繰入金	0		
計	5,064	贈収入	4		
		その他	0		
(参考)	評価結果				
前年度決算額 0	継続して実施し、地域の担い手に農地を集積することで、高齢化、後継者不足、農地の有効活用に対し集落の活性化を図る。				

農041	項目名	農地流動化推進事業費補助金		
主要な施策	農地流動化推進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P161（農040）			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 農地の流動化促進及び優良農地の確保を図り、認定農業者の経営規模拡大を増進することで、地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図る。 認定農業者が3年以上の賃借を伴う利用権設定を行った場合に10aあたり8,000円の助成金を交付。			
(単位：千円)	【事業の成果】			
当初予算額	9,412	平成24年度実績	交付対象面積	14,335.6a
補正予算額	1,120	平成25年度実績	交付対象面積	16,570.6a
予算流・充用額	2,539	平成26年度実績	交付対象面積	16,338.5a
最終予算額	13,071	【今後の課題・方向性】 担い手への農地の集積は地域農業の振興に有効であり、継続して事業を実施する。		
本年度決算額	13,071	【評価結果】 地域農業の振興のため、中心的担い手である認定農業者への農地集積を図ることは必要で、経営安定や耕作放棄地の発生防止に資する事業であり、今後も継続して実施する。		
区分	決算額	【参考】		
財源内訳	国・県支出金	3,178	前年度決算額	
地方債	0	13,256		
その他	0			
一般財源	9,893			
計	13,071			

農042	項目名	新規就農ハード整備事業費		
主要な施策	新規就農者支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P162（農041）			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 新規就農者が就農の際に必要な機械施設の整備、農地賃借料に対して助成を行い、就農時の負担を軽減するとともに経営の安定化を図る。			
(単位：千円)	【事業の成果】			
当初予算額	16,798	平成24年度実績	1,547千円	
補正予算額	△1,286	・農地賃借料	19人	9,399千円
予算流・充用額	△2,538	・機械等整備	11人	2,220千円
最終予算額	12,974	平成25年度実績	13,950千円	
本年度決算額	12,675	・農地賃借料	22人	2,153千円
区分	決算額	・機械等整備	14人	10,522千円
財源内訳	国・県支出金	7,821	平成26年度実績	
地方債	0	・農地賃借料		26人
その他	0	・機械等整備		6人
一般財源	4,854			
計	12,675			
(参考)	【今後の課題・方向性】 新規就農者の就農初期の負担軽減と経営の早期安定のためには、機械施設の導入、農地賃借料の助成は必要であり、継続して事業を実施する。			
前年度決算額	16,170	【評価結果】 新規就農者対策は、本市の農業後継者及び移住定住者の確保に有効な施策であり、今後も継続していく。		

農043	項目名	集落営農体制強化支援事業補助金		
主要な施策	意欲ある担い手支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P162（農042）			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 農地の荒廃、担い手の高齢化や後継者不足を改善する方法の一つとして、集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
(単位：千円)	【事業の成果】 平成26年度の実績 組織化支援事業（実績なし） 経営多角化支援（実績なし） 機械施設整備支援（実績 徳吉（河原）：田植機 1,095,000円） 平成23年度決算額 1組織 3,550千円 平成24年度決算額 2組織 5,321千円 平成25年度決算額 1組織 4,996千円 平成26年度決算額 1組織 1,095千円			
当初予算額 3,450	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
補正予算額 △ 2,160	【事業の成果】 平成26年度の実績 組織化支援事業（実績なし） 経営多角化支援（実績なし） 機械施設整備支援（実績 徳吉（河原）：田植機 1,095,000円） 平成23年度決算額 1組織 3,550千円 平成24年度決算額 2組織 5,321千円 平成25年度決算額 1組織 4,996千円 平成26年度決算額 1組織 1,095千円			
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
最終予算額 1,290	【事業の成果】 平成26年度の実績 組織化支援事業（実績なし） 経営多角化支援（実績なし） 機械施設整備支援（実績 徳吉（河原）：田植機 1,095,000円） 平成23年度決算額 1組織 3,550千円 平成24年度決算額 2組織 5,321千円 平成25年度決算額 1組織 4,996千円 平成26年度決算額 1組織 1,095千円			
本年度決算額 1,095	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
区分 決算額	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
財源内訳	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
国・県支出金 730	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
地方債 0	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
その他 0	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
一般財源 365	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
計 1,095	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
(参考)	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
前年度決算額 4,996	【今後の課題・方向性】 事業を継続して実施し、農事組合法人や任意の集落営農組織の育成及び経営発展を図る。			
評価結果	継続して実施し、集落営農組織の育成及び経営改善による農家の所得向上とむらづくりの活性化を図る。			

農044	項目名	企業等農業参入促進支援事業費補助金		
主要な施策	意欲ある担い手支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P163（農043）			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 建設業等の他分野から新規参入した企業等が農業振興に寄与することを目的とし、機械、施設の整備等を支援することによって意欲的な企業等の参入促進を図る。			
(単位：千円)	【事業の成果】 農業用機械施設整備支援し、農業参入を促進した。 平成24年度実績 1社（パイプハウス3棟） 1,467千円（きのご生産） 平成25年度実績 1社（野菜工場） 14,648千円（野菜生産） 平成26年度実績 1社（農業用機械等） 2,995千円（水稲、野菜生産）			
当初予算額 7,853	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
補正予算額 △ 4,808	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
最終予算額 3,045	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
本年度決算額 2,995	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
区分 決算額	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
財源内訳	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
国・県支出金 2,995	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
地方債 0	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
その他 0	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
一般財源 0	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
計 2,995	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
(参考)	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
前年度決算額 14,648	【今後の課題・方向性】 事業実施主体の経営の持続性を担保するためには、事業計画の妥当性等を十分に確認する必要がある。 担い手不足を解消するため、企業の新規参入を促進していく。			
評価結果	継続して実施し、新しい担い手（企業）の農業参入を図ることにより、地域農業の振興に活かしていく。			

農045	項目名	鳥取市大規模飼料作経営安定化基金事業費		
主要な施策	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	37	所属名
年度	H26	事業の概要		
<b>会計名</b> 一般会計 <b>款</b> 農林水産業費 <b>項</b> 農業費 <b>目</b> 農業構造改善事業費 (単位：千円) <b>当初予算額</b> 68 <b>補正予算額</b> 1,804 <b>予算流・充用額</b> 0 <b>最終予算額</b> 1,872 <b>本年度決算額</b> 1,564		<b>事業の概要</b> 【問合せ先】農政係 0857-20-3232 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P27(農003) 【事業の概要】 汽水湖化に伴う飼料作営農について、飼料生産が計画目標数量(5,000kg/10a)を下回る場合に湖山池周辺の集落営農組織に支援を行う。 【事業の効果】 湖山池周辺の集落営農組織が作業受託組織と連携し大規模飼料作の経営安定化に向けた取組等を支援するための基金を設置し、県と市が機動的に支援し、経営の安定化を図る。 【今後の課題・方向性】 今後も継続して実施する。		
<b>区分</b> <b>決算額</b> 財源内訳 国・県支出金 0 地方債 0 その他 1,564 一般財源 0 <b>計</b> 1,564		<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 6 寄付金 0 繰入金 1,564 諸収入 0 その他 0		
(参考)	<b>前年度決算額</b> 2,179	<b>評価結果</b> 湖山池の汽水湖化に伴い、水稲生産から飼料生産に転換した集落営農組織の経営安定に必要な事業として今後も継続して実施していく。(当 面、平成29年度まで)		

農046	項目名	野生鳥獣被害防止事業費		
主要な施策	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	38	所属名
年度	H26	事業の概要		
<b>会計名</b> 一般会計 <b>款</b> 農林水産業費 <b>項</b> 林産業費 <b>目</b> 林業総務費 (単位：千円) <b>当初予算額</b> 51,569 <b>補正予算額</b> 3,113 <b>予算流・充用額</b> 0 <b>最終予算額</b> 54,682 <b>本年度決算額</b> 50,707		<b>事業の概要</b> 【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P164(農045) 【事業の概要】 イノシシ等の被害防止対策に必要な補助金を交付することにより、農林業者が安心して生産活動を行える環境を整備し、もって本市農業の振興を図る。 1 有害鳥獣駆除実施事業(負担割合 県1/3、市2/3) 2 侵入防止施設整備事業(負担割合 県1/3、市1/3、地元1/3) 3 イノシシ等捕獲奨励金(負担割合 県1/2、市1/2) 4 免許取得促進事業(負担割合 県1/3、市2/3) 5 鳥取市鳥獣害対策協議会支援(負担割合 国1/2、市1/2)(地元負担1/6もあり) 6 解体処理施設維持管理(負担割合 市10/10) 7 新規銃砲取得者育成・確保、捕獲技術向上対策(負担割合 市10/10) 【事業の成果】 1 有害鳥獣駆除実施事業 カラス一斉駆除 2回延256人 2 侵入防止施設整備事業 トタン422m、ワイヤーメッシュ16,926m、電気柵22,605m 3 イノシシ等捕獲奨励金 イノシシ2,084頭、シカ656頭、アライグマ14頭、ヌートリア466頭 4 免許取得促進事業 新規取得7人 5 鳥取市鳥獣害対策協議会支援 侵入防止柵19,978m、捕獲檻80基 6 解体処理施設維持管理 615,374円(光熱水費、修繕費) 7 新規銃砲取得者育成・確保、捕獲技術向上対策 技能講習2人、技術向上78人 【今後の課題・方向性】 良質の食肉管理及び解体作業者の体調管理のため環境を整備し、イノシシの解体処理頭数の有効利用増加に努める。 ※その他財源の諸収入は、イノシシ解体処理施設光熱水費負担金		
<b>区分</b> <b>決算額</b> 財源内訳 国・県支出金 24,039 地方債 0 その他 116 一般財源 26,552 <b>計</b> 50,707		<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 116 その他 0		
(参考)	<b>前年度決算額</b> 48,120	<b>評価結果</b> 被害状況の把握を確実に、効率的な取り組みを行っていく必要がある。		

農047	項目名	クマ対策事業費		
主要な施策	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	38	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P164 (農046) 【事業の概要】 近年、人家近くでのクマ出没が頻発しており、住民の安全確保対策を講じ、人間とクマの安全な共存を図る。また果樹園でのクマ出没被害が頻発しており、農家と農作物の安全を確保するための対策を講ずる。 1 ツキノワグマ緊急対応体制整備 (出沒時安全対策) 負担割合 (県1/2 市1/2) 鳥取、国府、福部、河原、用瀬、佐治 各2名 計12名 2 ツキノワグマ追払い体制整備 (追払い業務委託) 負担割合 (県1/2 市1/2) 国府、佐治 各1地区 計2地区 3 ツキノワグマ注意看板 負担割合 (県1/2 市1/2) 注意看板設置 11基 (鳥取、国府、用瀬各3ヶ所、福部2ヶ所) 4 クマ追払い用品 負担割合 (県1/2 市1/2) 唐辛子スプレー、動物駆逐・駆除用ロケット花火 クマ鈴補助 負担割合 (県1/3 市1/3 地元1/3) 鳥取、国府、福部、河原、用瀬、佐治 計100個 【事業の成果】 1 出沒時安全対策 (H24: 延11日、H25: 延2日、H26: なし) 2 追払い業務委託 1地区 (佐治) 3 注意看板 (H24: 11枚、H25: 11枚、H26: 22枚) 4 追払い用品 (H24: 2個、H25: 6組、H26: 26組) 5 クマ鈴補助 6個 【今後の課題・方向性】 確実な被害状況の把握、出沒エリアの予測 錯誤捕獲での学習不足個体の取り扱いについての殺処分への検討			
款	農林水産業費			
項	林産業費			
目	林業総務費			
(単位: 千円)				
当初予算額	549			
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	549	その他財源の内訳		
本年度決算額	221	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	110		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	111		
	計	221		
(参考)	前年度決算額	82	評価結果	
			近年、ツキノワグマ個体数増加や錯誤捕獲個体の活動が懸念されている。農作物被害対策として、侵入防止柵設置等の徹底と、人身被害対策の充実を図るため、従来の安全対策事業と併せ、鳥獣被害対策実施隊の有効活用を推進していく。	

農048	項目名	鳥獣被害対策実施隊設置事業費		
主要な施策	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	38	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P165 (農047) 【事業の概要】 鳥獣による被害防止対策を効果的かつ効率的に実施するためには、通常の有害鳥獣捕獲と併せ、捕獲従事者の不在地区などにおける捕獲活動が必要となっており、その対策として鳥獣被害対策実施隊を設置する (総員45名) 1 わな設置 (借上料) 箱わな・くくりわな 5基/月 2 出動手当 (報償費) 銃器 1人/月 わな 5人/月 特定外来生物用箱わな 5人/月 需用費 (消耗品費) 事務・作業物品 (捕獲用網等) 【事業の成果】 1 わな設置 (借上料) なし 2 出動手当 (報償費) 銃器 57人/年 わな 26人/年 特定外来生物用箱わな 2人/年 需用費 (消耗品費) 事務・作業物品 (捕獲用網等) 【今後の課題・方向性】 実施隊員の確保 (わな猫・第1種銃猟免許保持者) と対応マニュアルの作成、広域的活動の構築。			
款	農林水産業費			
項	林産業費			
目	林業総務費			
(単位: 千円)				
当初予算額	550			
補正予算額	140			
予算流・充用額	0			
最終予算額	690	その他財源の内訳		
本年度決算額	537	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	537		
	計	537		
(参考)	前年度決算額	360	評価結果	
			今後も狩猟者、特に銃猟免許保持者の減少が予測され、捕獲者不在の地域が増える恐れもある。実施隊員への期待は年々大きくなると思われ、捕獲技術向上、隊員の増員、若手担い手の確保・育成を図る必要がある。	

農049	項目名	射撃場整備事業費
------	-----	----------

主要な施策	射撃場整備事業費	ページ	38
-------	----------	-----	----

所属名	農林水産部 農業振興課
-----	----------------

年度	H26
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	林産業費
目	林業総務費

【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P165（農048）、6月補正予算・P43（農006）

【事業の概要】  
 鳥取射撃場再整備  
 1 設計・調査業務（鉛弾処理方法検討、平面设计、縦横断設計、構造物設計、鉛の回収方法の検討、射面設備の改修計画、既存上屋等の改修計画）  
 2 工事（鉛弾処理、射撃場整備）  
 クレー射撃場改修 N=1ヶ所  
 管理棟1棟、トラップ射撃場1面A=8,890㎡、スキート射撃場1面A=2,800㎡、鉛弾飛散防水ネットA=3,500㎡、鉛弾処理V=㎡

【事業の成果】  
 平成26年度 9,221千円 土壌調査・鉛弾処理方法検討及び構造物設計業務  
 （翌年度繰越額 357,675千円 鉛弾処理工事、射撃場整備工事）

【今後の課題・方向性】  
 平成28年度当初からの再開を目的に整備する。併せて管理・運営方法についても、県・鳥取県猟友会・鳥取県クレー射撃協会等の関係団体や鳥取県東部地域4町と連携し整備を進める。

(単位：千円)

当初予算額	5,800
補正予算額	361,096
予算流・充用額	0

最終予算額	366,896	その他財源の内訳	
本年度決算額	9,221	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	決算額
国・県支出金	1,708
財源内訳	
地方債	0
その他	0
一般財源	7,513
計	9,221

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	鳥獣被害の軽減に資するよう、平成27年度中の再整備を行う。
------	-------------------------------

農050	項目名	市行造林維持管理費
------	-----	-----------

主要な施策	市行造林維持管理費	ページ	38
-------	-----------	-----	----

所属名	農林水産部 林務水産課
-----	----------------

年度	H26
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	林産業費
目	林業総務費

【問合せ先】林務係 0857-20-3235

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P166（農049）

【事業の概要】  
 森林経営計画（平成25年度～29年度）に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を行う。

【事業の成果】  
 ①森林国営保険料 195.81ha 703千円  
 ②委託料 下刈5.08ha、除伐7.38ha、間伐（切捨7.92ha、搬出10.88ha、作業道1,732m） 19,198千円

平成24年度 4,434千円  
 平成25年度 21,087千円  
 平成26年度 21,610千円  
 （翌年度繰越額 2,312千円）

【今後の課題・方向性】  
 新たな森林経営計画に基づき、間伐等を実施。

(単位：千円)

当初予算額	33,201
補正予算額	0
予算流・充用額	12

最終予算額	33,213	その他財源の内訳	
本年度決算額	21,610	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	7,139
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	決算額
国・県支出金	14,471
財源内訳	
地方債	0
その他	7,139
一般財源	0
計	21,610

(参考)

前年度決算額	21,087
--------	--------

評価結果	5箇年の森林経営計画に基づき保育施策を実施する（～平成29年度）
------	----------------------------------

農051	項目名	森林病虫害防除事業費		
主要な施策	森林病虫害防除事業費	ページ	38	所 属 名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P166（農050）			
目 林業総務費	【事業の概要】 平成19年に策定した鳥取市松くい虫被害対策実施計画に基づき、海岸部の松林を中心に松くい虫被害の予防と駆除等を実施			
(単位：千円)	【事業の成果】 空中散布 47ha、地上散布 32ha、伐倒駆除18m3、樹幹注入 725本			
当初予算額	17,298	平成24年度 15,968千円		
補正予算額	△1,482	平成25年度 11,802千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 10,965千円		
最終予算額	15,816	【今後の課題・方向性】 引き続き、重要な松林等の保全と被害木の駆除を実施する。		
本年度決算額	10,965	評価結果		
区分	決算額	継続して松くい虫の駆除を実施する。		
財源内訳	国・県支出金 8,640	分担金 0		
地方債 0	負担金 0	使用料 0		
その他 0	手数料 0	財産収入 0		
一般財源 2,325	寄付金 0	繰入金 0		
計 10,965	贈収金 0	贈収入 0		
	その他 0	その他 0		
(参考)	前年度決算額 11,802			

農052	項目名	地域学習活動事業費補助金		
主要な施策	林業後継者育成事業費	ページ	38	所 属 名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P167（農051）			
目 林業総務費	【事業の概要】 林業後継者を対象に造林・林業機械等について研修を実施する林研グループ等に対して、助成支援するもの。			
(単位：千円)	【事業の成果】 地域学習活動事業を支援した。			
当初予算額	168	平成24年度 168千円		
補正予算額	0	平成25年度 168千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 168千円		
最終予算額	168	【今後の課題・方向性】 継続して実施		
本年度決算額	168	評価結果		
区分	決算額	団体構成員の林業技術の習得や林業経営の改善を図り、鳥取市の林業振興に貢献するため支援を継続する。		
財源内訳	国・県支出金 0	分担金 0		
地方債 0	負担金 0	使用料 0		
その他 0	手数料 0	財産収入 0		
一般財源 168	寄付金 0	繰入金 0		
計 168	贈収金 0	贈収入 0		
	その他 0	その他 0		
(参考)	前年度決算額 168			

農053	項目名	林業労働者福祉向上推進事業費補助金		
主要な施策	林業労働者福祉向上推進事業費	ページ	38	所属名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P167（農052）			
目 林業総務費	【事業の概要】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を助成する。			
(単位：千円)	【事業の成果】 （財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を支援した。			
当初予算額	1,232	平成24年度 1,076千円 平成25年度 1,185千円 平成26年度 1,231千円		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、森林整備の担い手である林業労働者を育成、確保するため支援を継続する。		
予算流・充用額	0	評価結果		
最終予算額	1,232	林業労働者の福祉向上と労働条件の改善を図り、森林整備の担い手である林業労働者を育成、確保するため支援を継続する。		
本年度決算額	1,231	その他の財源の内訳		
区分	決算額	分担金 0		
財源内訳		負担金 0		
国・県支出金	0	使用料 0		
地方債	0	手数料 0		
その他	0	財産収入 0		
一般財源	1,231	寄付金 0		
計	1,231	繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
(参考)		前年度決算額 1,185		

農054	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費補助金		
主要な施策	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	38	所属名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P168（農053）			
目 林業総務費	【事業の概要】 林業事業者が雇用する林業労働者の雇用条件の改善し、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に掛かる健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。			
(単位：千円)	【事業の成果】 （事業の内容） 健康保険・農林年金の事業主負担の一部を助成した。 補助対象者 27人			
当初予算額	5,982	平成24年度 3,970千円 26人 平成25年度 4,972千円 28人 平成26年度 4,886千円 27人		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため支援を継続する。		
予算流・充用額	0	評価結果		
最終予算額	5,982	雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため支援を継続する。		
本年度決算額	4,886	その他の財源の内訳		
区分	決算額	分担金 0		
財源内訳		負担金 0		
国・県支出金	2,443	使用料 0		
地方債	0	手数料 0		
その他	0	財産収入 0		
一般財源	2,443	寄付金 0		
計	4,886	繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
(参考)		前年度決算額 4,972		

農055	項目名	森林管理対策事業費		
主要な施策	森林管理対策事業費		ページ	38
年度	H26		所 属 名	
			農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正・P27（農004）		
目	林業総務費	【事業の概要】 林業離れが進行し、国土保全の公益的機能の低下が懸念される状況である。このため森林管理巡視員を設置し、森林保全巡視活動と合わせて管理業務を実施することにより、実情に即した健全な森林の育成、保全を図る。		
(単位：千円)		【事業の成果】 森林保全業務を委託し、健全な森林の育成、保全を図ることができた。		
当初予算額	1,015	平成24年度 993千円		
補正予算額	1,259	平成25年度 986千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 2,261千円		
最終予算額	2,274	【今後の課題・方向性】 継続して、健全な森林の育成、保全を図る。		
本年度決算額	2,261	その他の財源の内訳		
区 分		分担金 0		
財源内訳	国・県支出金	0	負担金 0	
	地方債	0	使用料 0	
	その他	0	手数料 0	
	一般財源	2,261	財産収入 0	
	計	2,261	寄付金 0	
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
(参考)	前年度決算額	986	評価結果 林業離れが進行し、国土保全の公益的機能の低下が懸念される状況である。このため森林管理巡視員を設置し、森林保全巡視活動と合わせて管理業務を実施することにより、実情に即した健全な森林の育成、保全を図る。	

農056	項目名	森づくり市民活動支援事業費		
主要な施策	森づくり市民活動支援事業費		ページ	37
年度	H26		所 属 名	
			農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P168（農054）		
目	林業総務費	【事業の概要】 水源地域における森林保全活動に対し補助金を交付することにより、市民一人ひとりがそれぞれの立場で森づくりに参加する気持ちを醸成し、森づくりや水源涵養に対する意識の高揚と啓発を図る。		
(単位：千円)		【事業の成果】 水源地域における森林保全活動に対し補助金を交付した。		
当初予算額	750	平成24年度 656千円 3団体		
補正予算額	△394	平成25年度 375千円 2団体		
予算流・充用額	△13	平成26年度 106千円 1団体		
最終予算額	343	【今後の課題・方向性】 継続して実施		
本年度決算額	106	その他の財源の内訳		
区 分		分担金 0		
財源内訳	国・県支出金	0	負担金 0	
	地方債	0	使用料 0	
	その他	0	手数料 0	
	一般財源	106	財産収入 0	
	計	106	寄付金 0	
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		
(参考)	前年度決算額	375	評価結果 環境保全意識の高まりを背景に今後もボランティア団体の森林保全活動に対し支援を行う	

農057	項目名	既設林道維持管理事業費	
主要な施策	既設林道維持管理事業費	ページ	38
年度	H26	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P169（農055）		
目 林業振興費	【事業の概要】 林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、点検、除草、修繕、改良、舗装などの維持管理及び改良を行うもの。		
(単位：千円)	【事業の成果】 路肩・法面の伐開、側溝土砂除去、原材料の支給、危険個所の修繕を行った。		
当初予算額 8,808	平成24年度 8,901千円		
補正予算額 △767	平成25年度 19,906千円		
予算流・充用額 0	平成26年度 7,542千円		
最終予算額 8,041	【今後の課題・方向性】 今後も継続して、適正な維持管理に努める。		
本年度決算額 7,542	評価結果 林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、既設林道の点検、除草、修繕、改良、舗装などの維持管理及び改良を行う。		
区分 決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	分担金 0		
国・県支出金 1,370	負担金 0		
地方債 900	使用料 47		
その他 47	手数料 0		
一般財源 5,225	財産収入 0		
計 7,542	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		
(参考)			
前年度決算額 19,906			

農058	項目名	林道改良事業費	
主要な施策	既設林道維持管理事業費	ページ	38
年度	H26	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正・P44（農007）		
目 林業振興費	【事業の概要】 林道の改良・舗装を行い、林道を安全に通行できるようにする。		
(単位：千円)	【事業の成果】 林道高路岩坪線の改良事業（未改良区間の拡幅）		
当初予算額 0	平成24年度 7,470千円 工事請負費		
補正予算額 10,000	平成25年度 9,285千円 工事請負費・測量設計費・土地購入費		
予算流・充用額 0	平成26年度 117千円 土地購入費		
最終予算額 10,000	(翌年度繰越額 9,700千円 工事請負費・土地購入費)		
本年度決算額 117	【今後の課題・方向性】 年次的に舗装、改良を行うとともに適正な維持管理に努める。		
区分 決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	分担金 0		
国・県支出金 0	負担金 0		
地方債 0	使用料 0		
その他 0	手数料 0		
一般財源 117	財産収入 0		
計 117	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		
(参考)	評価結果 林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、既設林道の改良（拡幅、舗装）を行なう。		
前年度決算額 9,285			

農059	項目名	造林事業費	
主要な施策	造林事業費	ページ	38
年度	H26	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】林務係 0857-20-3235	
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101	
項	林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P169（農056）	
目	林業振興費	【事業の概要】 適正な森林造成を計画的かつ効果的に促進し、本市林業の振興を図るために補助金を交付する。	
(単位：千円)		【事業の成果】 民有林間伐等を支援した。	
当初予算額	27,840	平成24年度 間伐・竹林林種転換 208.58ha 16,100千円	
補正予算額	△3,544	平成25年度 間伐・竹林林種転換 213.77ha 18,089千円	
予算流・充用額	0	平成26年度 間伐・竹林林種転換 255.01ha 21,245千円	
最終予算額	24,296	【今後の課題・方向性】 今後も間伐、竹林整備、クスギ造林などを支援し、森林整備を進める。	
本年度決算額	21,245	その他の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	19,000	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	2,245	寄付金	0
計	21,245	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)		評価結果	平成27年度に八頭町のチップ工場が供用開始したことにより、間伐量の増加が見込まれる。
前年度決算額	18,089		

農060	項目名	間伐搬出支援事業費	
主要な施策	造林事業費	ページ	38
年度	H26	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】林務係 0857-20-3235	
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101	
項	林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P170（農057）、12月補正・P28（農005）	
目	林業振興費	【事業の概要】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。	
(単位：千円)		【事業の成果】 間伐材搬出支援（間伐材搬出1m3あたり1,000円を補助） （搬出量）38,065m3×1,000円/m3＝（補助金）38,065千円	
当初予算額	16,678	平成24年度 21,327千円	
補正予算額	25,930	平成25年度 21,931千円	
予算流・充用額	0	平成26年度 38,066千円	
最終予算額	42,608	【今後の課題・方向性】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、搬出の支援を継続する。	
本年度決算額	38,066	その他の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	38,066	寄付金	0
計	38,066	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)		評価結果	森林整備・保安を図るため間伐施業は不可欠であり、需要の高まる木質バイオマス燃料の確保のためにも間伐材の安定的な搬出が必要のため安定、支援を継続する
前年度決算額	21,931		

農061	項目名	竹林整備事業費	
主要な施策	造林事業費	ページ	38
年度	H26	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P170（農058）		
目 林業振興費	【事業の概要】 竹の拡大・侵入防止やタケノコ栽培のため、鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。		
(単位：千円)	【事業の成果】 放置竹林整備の支援を行った。		
当初予算額 15,300	H24年度 18,244千円 5.15ha(抜き伐り)		
補正予算額 0	H25年度 16,010千円 4.32ha(抜き伐り)		
予算流・充用額 0	H26年度 15,231千円 4.00ha(抜き伐り)		
最終予算額 15,300	【今後の課題・方向性】 継続して実施		
本年度決算額 15,231	評価結果 竹林対策に対する支援を継続するため、鳥取県へ森林環境保全税の確保と制度の継続を要求する		
区分 決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	分担金 0		
国・県支出金 14,238	負担金 0		
地方債 0	使用料 0		
その他 0	手数料 0		
一般財源 993	財産収入 0		
計 15,231	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		
(参考)			
前年度決算額 16,010			

農062	項目名	森林整備地域活動支援交付金交付事業費	
主要な施策	森林整備地域活動支援推進事業費	ページ	38
年度	H26	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P171（農059）、12月補正・P29（農007）		
目 林業振興費	【事業の概要】 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備を推進するため、森林整備地域活動支援交付金を交付し、「森林経営計画作成促進」、「施業集約化の促進」、「森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備」などの地域活動の確保を図る。		
(単位：千円)	【事業の成果】 適切な森林整備の推進を通じて森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から森林所有者等による施業の実施に不可欠な地域活動を支援を行った。		
当初予算額 11,600	平成24年度 15,574千円 529.15ha		
補正予算額 3,000	平成25年度 6,340千円 236.37ha		
予算流・充用額 0	平成26年度 13,000千円 510.52ha		
最終予算額 14,600	【今後の課題・方向性】 引き続き支援を行っていく。事業は平成28年度までの予定		
本年度決算額 13,000	評価結果 森林整備に必要な経費について、国・県の補助金を受けるには「森林経営計画」の策定が必須であり、引き続き計画作成に必要な経費を補助することで森林組合等の負担軽減を図る		
区分 決算額	その他財源の内訳		
財源内訳	分担金 0		
国・県支出金 11,966	負担金 0		
地方債 0	使用料 0		
その他 0	手数料 0		
一般財源 1,034	財産収入 0		
計 13,000	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		
(参考)			
前年度決算額 6,340			

農063	項目名	森づくり作業道整備事業費		
主要な施策	森づくり作業道整備事業費		ページ	38
年度	H26		所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	林産業費			
目	林業振興費			
(単位：千円)				
当初予算額	5,841			
補正予算額	5,839			
予算流・充用額	0			
最終予算額	11,680		その他の財源の内訳	
本年度決算額	11,679		分担金	0
区分	国・県支出金	0	負担金	0
	地方債	0	使用料	0
	その他	0	手数料	0
	一般財源	11,679	財産収入	0
	計	11,679	寄付金	0
				繰入金
			贈収入	0
			その他	0
【問合せ先】林務係 0857-20-3235				
【9次総の施策体系】5101				
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P171(農060)				
【事業の概要】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道の整備を促進する。				
【事業の成果】 平成24年度 6,170千円 (40路線 34,042m) 平成25年度 5,857千円 (45路線 36,000m) 平成26年度 11,679千円 (61路線 49,773m)				
【今後の課題・方向性】 国・県の補助事業とあわせて、継続して補助を行う。				
(参考)				
前年度決算額	5,857			
評価結果	森林整備に必要な路網の整備を促進するため、作業道を整備する事業者へ補助金を交付し、国・県の補助事業とあわせて、継続して補助事業を行う。			

農064	項目名	林産物振興対策事業費		
主要な施策	林産物振興対策事業費		ページ	38
年度	H26		所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	林産業費			
目	林業振興費			
(単位：千円)				
当初予算額	2,768			
補正予算額	△708			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,060		その他の財源の内訳	
本年度決算額	392		分担金	0
区分	国・県支出金	0	負担金	0
	地方債	0	使用料	0
	その他	0	手数料	0
	一般財源	392	財産収入	0
	計	392	寄付金	0
				繰入金
			贈収入	0
			その他	0
【問合せ先】林務係 0857-20-3235				
【9次総の施策体系】5101				
【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P172(農061)、6月補正・P45(農009)				
【事業の概要】 本市の特産品である椎茸の生産、出荷及び販売を促進することで、消費拡大及び生産者の意欲向上を図り、椎茸の生産を振興する。また、新規参入者に対し支援を行うことで、椎茸産地としての持続的な発展を目指す。				
【事業の成果】 1 鳥取いなば農協182袋、個人1名22シートの椎茸の種菌の購入に対し支援を行った。 2 「とっとりきのご祭り」の開催に要する経費に対し支援を行った。 3 個人1名の施設整備に要する経費に対し支援を行った。  平成24年度 3,961千円 平成25年度 1,549千円 平成26年度 392千円				
【今後の課題・方向性】 本市の椎茸のさらなる生産振興と消費拡大を目指すため、事業内容の見直しや拡大を行い、生産者のニーズに沿った支援を行う必要がある。				
(参考)				
前年度決算額	0			
評価結果	椎茸産地として持続的な発展を目指すため、引き続き支援を行う			

農065	項目名	淡水魚放流事業費	
主要な施策	淡水魚放流事業費	ページ	38
年度	H26	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P172 (農062)		
目 水産業振興費	【事業の概要】 水産資源の再生産及び鮎の天然遡上の増大を図る事業に対して助成する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 稚鮎の放流		
当初予算額	12,492	平成24年度 4.22t 平成25年度 3.83t 平成26年度 3.57t	
補正予算額	△710	【今後の課題・方向性】 千代川流域の内水面漁業振興、地域振興のため事業を継続する。	
予算流・充用額	0	※その他財源の諸収入は、鮎放流事業負担金	
最終予算額	11,782	【参考】	
本年度決算額	11,782	前年度決算額 11,962	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		千代川流域の内水面漁業振興、地域振興のため事業を継続する。 今後、魚道改修により天然遡上が回復すれば、漁協と縮小に向けた協議を進める。	
国・県支出金	0	分担金 0	
地方債	0	負担金 0	
その他	5,760	使用料 0	
一般財源	6,022	手数料 0	
計	11,782	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		諸収入 5,760	
		その他 0	

農066	項目名	沿岸漁場整備開発事業費	
主要な施策	沿岸漁場整備開発事業費	ページ	38
年度	H26	所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P173 (農063)		
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁業者が自ら整備する沿岸漁場、養殖場等について原材料の一部を支給することにより、沿岸漁場の開発を促進する。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	200	平成24年度 岩のり養殖場補修 (セメント50袋)	
補正予算額	0	平成25年度 岩のり養殖場補修 (セメント50袋) ・カキ養殖用筏資材 (1式)	
予算流・充用額	0	平成26年度 岩のり養殖場補修 (セメント50袋) ・カキ養殖用筏資材 (1式)	
最終予算額	200	パイ産卵器資材 (1式)	
本年度決算額	196	【今後の課題・方向性】 沿岸漁場整備のため、今後も事業を継続する。	
区分	決算額	【参考】	
財源内訳		沿岸漁場整備のため、今後も事業を継続する。	
国・県支出金	0	分担金 0	
地方債	0	負担金 0	
その他	0	使用料 0	
一般財源	196	手数料 0	
計	196	財産収入 0	
		寄付金 0	
		繰入金 0	
		諸収入 0	
		その他 0	
前年度決算額	179		

農067	項目名	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金		
主要な施策	鳥取かにフェスタ開催事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P173（農064）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 毎年、松葉がに漁が解禁する11月に開催される「鳥取かにフェスタ」を支援し、 松葉がにの産地としての鳥取市をPRし、併せて地元水産業の振興を図る。			
(単位：千円)	【事業の成果】 鳥取かにフェスタへ助成			
当初予算額 720	(来場者数)			
補正予算額 0	平成24年度 約 9,000人			
予算流・充用額 0	平成25年度 約 15,000人			
最終予算額 720	平成26年度 約 18,000人			
本年度決算額 720	【今後の課題・方向性】 賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」への助成を継続する。			
区分 決算額	【参考】			
財源内訳	前年度決算額 720			
国・県支出金 0	評価結果			
地方債 0	事業内容に工夫を加えながら、賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続し、地域の賑わいを創出する。			
その他 0				
一般財源 720				
計 720				

農068	項目名	漁業経営能力向上促進事業費		
主要な施策	漁業経営能力向上促進事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P174（農065）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 魚価低迷、燃油・資材高騰等厳しい経営環境の中で、将来にわたって自立的・安定的な漁業経営（漁業経営改善計画）を目指し、県の制度と連携し漁業経営の効率化を図る漁業者を育成する。			
(単位：千円)	【事業の成果】			
当初予算額 2,834	平成24年度 エンジン換装 2件 1,167千円			
補正予算額 △334	平成25年度 エンジン換装 4件 作業灯LED化 25件 4,413千円			
予算流・充用額 0	平成26年度 エンジン換装 3件 2,500千円			
最終予算額 2,500	【今後の課題・方向性】 漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し継続して事業を実施する。			
本年度決算額 2,500	【参考】			
区分 決算額	評価結果			
財源内訳	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し継続して事業を継続する。			
国・県支出金 0				
地方債 0				
その他 0				
一般財源 2,500				
計 2,500				
前年度決算額 4,413				

農069	項目名	漁業経営開始円滑化事業費																						
主要な施策	漁業経営開始円滑化事業費	ページ	39	所属名																				
年度	H26	農林水産部 林務水産課																						
会計名		事業の概要																						
一般会計		【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236																						
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																						
項	水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P174 (農066)																						
目	水産業振興費	【事業の概要】 漁業就業時に必要な漁船等の初期投資に対して助成することにより漁業の新規就労者への円滑な確保を実現する。																						
(単位:千円)		【事業の成果】 新規就業者の漁船建造																						
当初予算額	16,667	平成24年度 1隻(15,556千円)																						
補正予算額	0	平成25年度 1隻(16,667千円)																						
予算流・充用額	0	平成26年度 1隻(16,667千円)																						
最終予算額	16,667	【今後の課題・方向性】 新規漁業就労者を確保を図るため、事業を継続する。																						
本年度決算額	16,667	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
区分	決算額																							
財源内訳																								
国・県支出金	12,500																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	4,167																							
計	16,667																							
(参考)		評価結果																						
前年度決算額	16,667	新規漁業者の負担軽減を図ることで、円滑な就業に繋がっており、事業を継続する。																						

農070	項目名	漁船リース推進事業費																						
主要な施策	漁船リース推進事業費	ページ	39	所属名																				
年度	H26	農林水産部 林務水産課																						
会計名		事業の概要																						
一般会計		【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236																						
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																						
項	水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P175 (農067)																						
目	水産業振興費	【事業の概要】 沖合底びき網漁船建造時のリース料の付加料部分に対する助成を行い、沖合底びき網漁業の存続を図る。																						
(単位:千円)		【事業の成果】 沖合底びき網漁船のリース料の付加料部分を補助																						
当初予算額	9,024	平成24年度 沖合底びき網漁船 2隻、改良網導入費支援 5隻 9,774千円																						
補正予算額	0	平成25年度 沖合底びき網漁船 2隻 9,023千円																						
予算流・充用額	0	平成26年度 沖合底びき網漁船 2隻 9,023千円																						
最終予算額	9,024	【今後の課題・方向性】 沖合底びき網漁業の衰退を防止し、本市の漁業振興を図るため、事業を継続する。																						
本年度決算額	9,023	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
区分	決算額																							
財源内訳																								
国・県支出金	4,888																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	4,135																							
計	9,023																							
(参考)		評価結果																						
前年度決算額	9,023	沖合底びき網漁業の衰退を防止し、本市の漁業振興を図るため事業を継続する。																						

農071	項目名	福部町漁港施設維持管理事業費		
主要な施策	漁港施設維持管理事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P175（農068）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。			
(単位：千円)	【事業の成果】 漁港施設維持管理（修繕等）1式 岩戸漁港浚渫 1,300㎡			
当初予算額	5,011	平成24年度 5,449千円		
補正予算額	0	平成25年度 4,746千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 4,956千円		
最終予算額	5,011	【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
本年度決算額	4,956	評価結果		
区分	決算額	今後とも第1種漁港の管理者として適正な維持管理を行う。		
財源内訳	決算額	分担金 0		
国・県支出金	0	負担金 0		
地方債	0	使用料 100		
その他	100	手数料 0		
一般財源	4,856	財産収入 0		
計	4,956	寄付金 0		
(参考)	前年度決算額	繰入金 0		
前年度決算額	4,746	贈収入 0		
		その他 0		

農072	項目名	気高町漁港施設維持管理事業費		
主要な施策	漁港施設維持管理事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H26	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P176（農069）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。			
(単位：千円)	【事業の成果】 漁港施設維持管理（修繕等）1式 酒津漁港浚渫 780㎡ 船磯漁港浚渫 3,010㎡			
当初予算額	17,648	平成24年度 23,832千円		
補正予算額	418	平成25年度 17,900千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 17,991千円		
最終予算額	18,066	【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
本年度決算額	17,991	評価結果		
区分	決算額	今後とも第1種漁港の管理者として適正な維持管理を行う。		
財源内訳	決算額	分担金 0		
国・県支出金	0	負担金 0		
地方債	0	使用料 2,559		
その他	2,559	手数料 0		
一般財源	15,432	財産収入 0		
計	17,991	寄付金 0		
(参考)	前年度決算額	繰入金 0		
前年度決算額	17,900	贈収入 0		
		その他 0		

農073	項目名	青谷町漁港施設維持管理事業費			
主要な施策	漁港施設維持管理事業費	ページ	39	所属名	
年度	H26	事業の概要			
<b>会計名</b> 一般会計 <b>款</b> 農林水産業費 <b>項</b> 水産業費 <b>目</b> 水産業振興費 (単位：千円) <b>当初予算額</b> 14,029 <b>補正予算額</b> △188 <b>予算流・充用額</b> 0 <b>最終予算額</b> 13,841 <b>本年度決算額</b> 13,790		【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P176 (農070) 【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。 【事業の成果】 漁港施設維持管理(修繕費等) 1式 長瀬漁港浚渫 2,860㎡ 平成24年度 17,490千円 平成25年度 18,334千円 平成26年度 13,790千円 【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。			
<b>区分</b> <b>決算額</b> 財源内訳 国・県支出金 0 地方債 0 その他 1,575 一般財源 12,215 <b>計</b> 13,790		<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 1,575 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収 0 その他 0			
(参考)	<b>前年度決算額</b> 18,334	<b>評価結果</b> 今後も第1種漁港の管理者として適正な維持管理を行う。			

農074	項目名	稚貝放流事業補助金			
主要な施策	稚貝放流事業補助金	ページ	39	所属名	
年度	H26	事業の概要			
<b>会計名</b> 一般会計 <b>款</b> 農林水産業費 <b>項</b> 水産業費 <b>目</b> 水産業振興費 (単位：千円) <b>当初予算額</b> 839 <b>補正予算額</b> △29 <b>予算流・充用額</b> 0 <b>最終予算額</b> 810 <b>本年度決算額</b> 809		【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P177 (農071) 【事業の概要】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝等を放流し漁獲量の増加を図る。 【事業の成果】 天然資源が減少する中、放流事業により資源量の確保を図った。 平成26年度 サザエ アワビ バイ イワガキ ワカメ 稚貝放流個数 68,000個 25,500個 30,000個 1,000個 100m 平成24年度 688千円 平成25年度 800千円 平成26年度 809千円 【今後の課題・方向性】 漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。			
<b>区分</b> <b>決算額</b> 財源内訳 国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 809 <b>計</b> 809		<b>その他財源の内訳</b> 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収 0 その他 0			
(参考)	<b>前年度決算額</b> 800	<b>評価結果</b> 漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。			

農075	項目名	漁港高度利用促進対策事業費		
主要な施策	漁港高度利用促進対策事業費		ページ	39
年度	H26		所 属 名	
			農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款	農林水産業費		【9次総の施策体系】5101	
項	水産業費		【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P177（農072）	
目	水産業振興費		【事業の概要】 夏泊漁港の浚渫を行うことで、安全な航路を確保する。	
(単位：千円)		【事業の成果】 夏泊漁港浚渫 V=2,130m <sup>3</sup>		
当初予算額	7,200		【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適切な維持管理を行うことで、漁業生産基盤を確保する。	
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	7,200		【その他財源の内訳】	
本年度決算額	7,177		分担金 0	
区 分		負担金 0		
決算額		使用料 0		
財源内訳	国・県支出金	3,588	手数料 0	財産収入 0
	地方債	0	寄付金 0	繰入金 0
	その他	0	贈収入 0	その他 0
	一般財源	3,589		
	計	7,177		
(参考)	前年度決算額 0		評価結果 本事業は、国庫補助金により航路及び泊地の浚渫を行うことができる事業であるため、今後とも第1種漁港の適切な維持管理を行い、定期的に本事業を活用する。	

農076	項目名	とっとり発！6次産業化総合支援事業費補助金		
主要な施策	とっとり発！6次産業化総合支援事業費補助金		ページ	39
年度	H26		所 属 名	
			農林水産部 林務水産課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款	農林水産業費		【9次総の施策体系】5101	
項	水産業費		【予算上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正・P45（農010）	
目	水産業振興費		【事業の概要】 加工施設の整備を助成することで、初期費用の軽減を図る。また新規販路の開拓や商品開発の支援を行うことにより6次産業化を推進させる。そのことにより鳥取市沿岸で獲れる未利用であった水産物を掘り起し高付加価値化させ、本市の沿岸漁業の活性化につなげる。	
(単位：千円)		【事業の成果】 加工施設の整備及び商品開発、販路拡大に対し支援した。 平成26年度 補助額 2,587千円		
当初予算額	0		【今後の課題・方向性】 6次産業化を推進させるため、今後も事業を継続する。	
補正予算額	2,647			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,647		【その他財源の内訳】	
本年度決算額	2,587		分担金 0	
区 分		負担金 0		
決算額		使用料 0		
財源内訳	国・県支出金	1,725	手数料 0	財産収入 0
	地方債	0	寄付金 0	繰入金 0
	その他	0	贈収入 0	その他 0
	一般財源	862		
	計	2,587		
(参考)	前年度決算額 0		評価結果 6次産業化を推進させるため、今後も事業を継続する。	

農077	項目名	漁業振興対策事業費補助金																						
主要な施策	漁業振興対策事業費	ページ	39	所 属 名																				
年度	H26	農林水産部 林務水産課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236																							
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																							
項 水産業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P178（農073）																							
目 水産業振興費	【事業の概要】 内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業の費用や組合の活動の支援を行うことにより水産資源の維持増殖による水産業の振興及び市民のレクリエーション機会の増大に寄与する。																							
(単位：千円)	【事業の成果】 平成26年度においては、コイ・フナ産卵場整備を支援した。																							
当初予算額	1,868	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>ウナギ放流</td> <td>シジミ放流</td> <td>アマサギ放流</td> <td>金額</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>30kg</td> <td>430kg</td> <td>500万粒</td> <td>600千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>30kg</td> <td>—</td> <td>500万粒</td> <td>588千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>30kg</td> <td>200kg</td> <td>1000万粒</td> <td>1,112千円</td> </tr> </table>				ウナギ放流	シジミ放流	アマサギ放流	金額	平成24年度	30kg	430kg	500万粒	600千円	平成25年度	30kg	—	500万粒	588千円	平成26年度	30kg	200kg	1000万粒	1,112千円
	ウナギ放流	シジミ放流	アマサギ放流	金額																				
平成24年度	30kg	430kg	500万粒	600千円																				
平成25年度	30kg	—	500万粒	588千円																				
平成26年度	30kg	200kg	1000万粒	1,112千円																				
補正予算額	△756	【今後の課題・方向性】 湖山池における水産業振興及び市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。																						
予算流・充用額	0	【事業の成果】 平成26年度においては、コイ・フナ産卵場整備を支援した。																						
最終予算額	1,112	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">その他財源の内訳</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	1,112	【今後の課題・方向性】 湖山池における水産業振興及び市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。																						
区分	決算額	【参考】																						
財源内訳		前年度決算額																						
国・県支出金	256	588																						
地方債	0	評価結果																						
その他	0	湖山池における水産業の振興と併せて市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。																						
一般財源	856																							
計	1,112																							

農078	項目名	漁業雇用促進対策事業費																						
主要な施策	漁業振興対策事業費	ページ	39	所 属 名																				
年度	H26	農林水産部 林務水産課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236																							
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																							
項 水産業費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P178（農074）																							
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者を緊急に雇用し、漁労技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。																							
(単位：千円)	【事業の成果】 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成した。																							
当初予算額	25,858	<table border="1"> <tr> <td>平成24年度</td> <td>9名</td> <td>11,405千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>10名</td> <td>7,696千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>14名</td> <td>22,932千円</td> </tr> </table>			平成24年度	9名	11,405千円	平成25年度	10名	7,696千円	平成26年度	14名	22,932千円											
平成24年度	9名	11,405千円																						
平成25年度	10名	7,696千円																						
平成26年度	14名	22,932千円																						
補正予算額	△2,470	【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。																						
予算流・充用額	0	【事業の成果】 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成した。																						
最終予算額	23,388	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">その他財源の内訳</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	22,932	【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。																						
区分	決算額	【参考】																						
財源内訳		前年度決算額																						
国・県支出金	20,616	7,696																						
地方債	0	評価結果																						
その他	0	新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。																						
一般財源	2,316																							
計	22,932																							

農079	項目名	定置網漁業・海女漁ブランド化支援事業費		
主要な施策	定置網漁業・海女漁ブランド化支援事業費		ページ	38
年度	H26		所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款	【9次総の施策体系】5101			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正・P29（農008）			
目	【事業の概要】 定置網漁業のストック施設である冷蔵庫整備を支援することにより、漁獲される多種多様で新鮮な水産物の付加価値を高めブランド化を図る。併せて、海女漁のPR活動を支援することにより、その情報発信力でブランド化を促進し、本市水産業の発展や地域の活性化を図る。			
(単位：千円)	【事業の成果】 ①冷蔵庫の建設を支援する。 ②海女漁の販売促進活動経費を支援する。 事業主体：鳥取県漁業協同組合			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 平成26年度終了		
補正予算額	3,000			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,000	その他財源の内訳		
本年度決算額	3,000	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	2,000		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,000		
	計	3,000		
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 冷蔵庫整備等一定の成果があったため、平成26年度で終了。	

農080	項目名	補助災害復旧費		
主要な施策	現年発生災害復旧費		ページ	49
年度	H26		所属名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款	【9次総の施策体系】5101			
項	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算（追加）・P3（農003）、12月補正予算・P30（農009）			
目	【事業の概要】 台風や豪雨により、法面崩壊等の被害を受けた林道の災害復旧を行うもの。			
(単位：千円)	【事業の成果】 林道鳥取中央線の2箇所、及び林道三滝線を合わせた3箇所において早期に災害からの復旧を行い、林道利用者の安全の確保を図った。 ・本工事費 28,674千円 ・事務費 808千円 ・測量設計委託費 11,144千円 合計 40,626千円 （翌年度繰越額 29,088千円 本工事費・事務費）			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 林道管理者として、被災時には速やかに適切な機能回復を行う。		
補正予算額	40,626			
予算流・充用額	0			
最終予算額	40,626	その他財源の内訳		
本年度決算額	11,537	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収金	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	6,700		
	その他	0		
	一般財源	4,837		
	計	11,537		
(参考)	前年度決算額	1,885	評価結果 被災時には、今後とも林道管理者として適切な機能保全を行う。	

農081	項目名	単独災害復旧費
------	-----	---------

主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	49
-------	-----------	-----	----

所属名	農林水産部 林務水産課
-----	----------------

年度	H26
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	農林水産業施設災害復旧費

(単位：千円)

当初予算額	0
補正予算額	249
予算流・充用額	0

最終予算額	249
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

本年度決算額	130
--------	-----

区分	決算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	130
計	130

【問合せ先】林務係 0857-20-3235

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 12月補正・P30（農010）

【事業の概要】  
 林道利用者の安全の確保及び、林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。

【事業の成果】  
 法面崩壊の被害を受けた林道カタノツヤ線において、土砂撤去を行い、林業経営への影響を最小限に抑えた。  
 委託費 130千円

【今後の課題・方向性】  
 林道管理者として、被災時には速やかに適切な機能回復を行う。

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	被災時には、今後とも林道管理者として適切な機能保全を行う。
------	-------------------------------

農082	項目名	簡易水道事業費特別会計へ繰出
------	-----	----------------

主要な施策	簡易水道事業費特別会計へ繰出	ページ	35
-------	----------------	-----	----

所属名	農林水産部 農村整備課
-----	----------------

年度	H26
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	他会計繰出
目	簡易水道事業費特別会計へ繰出

(単位：千円)

当初予算額	326,316
補正予算額	10,045
予算流・充用額	0

最終予算額	336,361
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

本年度決算額	336,361
--------	---------

区分	決算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	336,361
計	336,361

【問合せ先】簡易水道係 0857-20-3246

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P179（農076）

【事業の概要】  
 簡易水道事業費特別会計への繰出金

【事業の成果】  
 平成24年度 61,194千円  
 平成25年度 338,600千円  
 平成26年度 336,361千円

【今後の課題・方向性】  
 平成29年度の統合を念頭に置き、今後も経営状態に即した繰出を継続。

(参考)

前年度決算額	338,600
--------	---------

評価結果	同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出を行う。
------	-----------------------------

農083	項目名	水道事業会計へ繰出		
主要な施策	水道事業会計へ繰出		ページ	35
年度	H26		所属名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4201		
項	他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P180(農077)		
目	水道事業会計へ繰出	【事業の概要】 水道事業会計への繰出金		
(単位:千円)		【事業の成果】		
当初予算額	86,325	平成24年度 61,194千円		
補正予算額	△9,131	平成25年度 61,799千円		
予算流・充用額	0	平成26年度 77,193千円		
最終予算額	77,194	【今後の課題・方向性】 今後も水道事業会計の経営状況をみながら繰出を継続する。		
本年度決算額	77,193	【事業の概要】		
区分		水道事業会計への繰出金		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金 0	
	地方債	0	負担金 0	
	その他	0	使用料 0	
	一般財源	77,193	手数料 0	
	計	77,193	財産収入 0	
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収 0		
		その他 0		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	61,799	繰出基準に沿った繰出を継続。		

農084	項目名	工業用水道事業会計へ繰出		
主要な施策	工業用水道事業会計へ繰出		ページ	35
年度	H26		所属名	
			農林水産部 農村整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4201		
項	他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P18(農005)		
目	工業用水道事業会計へ繰出	【事業の概要】 工業用水道事業会計への繰出金 青谷工業用水道における取水管路切り替え工事		
(単位:千円)		【事業の成果】		
当初予算額	0	平成26年度 1,613千円		
補正予算額	1,800	工業用水道事業による管路切り替え工事が完了した		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 平成26年単年度での実施		
最終予算額	1,800	【事業の概要】		
本年度決算額	1,613	工業用水道事業への繰出金		
区分		青谷工業用水道における取水管路切り替え工事		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金 0	
	地方債	0	負担金 0	
	その他	0	使用料 0	
	一般財源	1,613	手数料 0	
	計	1,613	財産収入 0	
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収 0		
		その他 0		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	0	対象工事が完了したため終了。		

農085	項目名	有機農業支援事業費		
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P155（農027）		
目	農業振興費	【事業の概要】 担い手農業者が鳥取いなば農業協同組合等から購入する、有機堆肥・肥料の購入費に対する支援		
(単位：千円)		【事業の成果】 平成24年度 事業費 3,994千円 有機堆肥(1,479t)、有機肥料(435t)に対して支援 平成25年度 事業費 3,740千円 有機堆肥(1,002t)、有機肥料(401t)に対して支援 平成26年度 事業費 2,046千円 有機堆肥(928t)、有機肥料(296t)に対して支援		
当初予算額	3,344	【今後の課題・方向性】 環境に優しい農業、有機資源のリサイクルに着目した循環型農業が注目されており、今後も有機堆肥等の利用の促進を図っていくとともに、補助対象のさらなる検討が必要である。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,344	その他財源の内訳		
本年度決算額	2,046	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	2,046	繰入金	0	
計	2,046	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	環境に優しい農業、有機資源のリサイクルに着目した循環型農業が注目されており、今後も有機堆肥等の利用の促進を図っていくとともに、補助対象のさらなる検討が必要である。	
前年度決算額	3,740			

農086	項目名	湖山池流入有機質肥料等削減事業費		
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P155（農028）		
目	農業振興費	【事業の概要】 1 元肥一発施用肥料購入支援事業 2 土壌診断活用促進助成事業 3 環境に優しい農業啓発パンフレット(チラシ)の作成		
(単位：千円)		【事業の成果】 平成24年度 事業費 384千円 元肥一発施用肥料947袋、ほ場の土壌診断に係る経費支援 72件 啓発パンフレット配布 平成25年度 事業費 434千円 元肥一発施用肥料1,066袋、ほ場の土壌診断に係る経費支援 79件 啓発パンフレット配布 平成26年度 事業費 416千円 元肥一発施用肥料1,121袋、ほ場の土壌診断に係る経費支援 80件 啓発パンフレット配布		
当初予算額	456	【今後の課題・方向性】 湖山池周辺の農業者により事業の目的が理解されつつある状況であり、今後さらなる啓発、取り組み支援等を行い、湖山池の富栄養化抑制等、環境に優しい農業を推進していく必要がある。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	456	その他財源の内訳		
本年度決算額	416	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	416	繰入金	0	
計	416	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	湖山池将来ビジョン推進計画に定められた、農業生産活動に伴う環境負荷低減を図る取り組みの一つとして、取組面積の増加等に繋がるよう本取り組みを推進していく。	
前年度決算額	434			

農087	項目名	環境保全型農業直接支援対策交付金		
主要な施策	環境保全型農業直接支援対策交付金		ページ	36
年度	H26		所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P157(農032)			
目 農業振興費	【事業の概要】 ①化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減及びカバークロップの作付の取り組みを組み合わせて行う営農活動に対して支援 ②化学肥料・化学合成農薬の5割以上低減及び炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用の取り組みを組み合わせる営農活動に対して支援 ③化学肥料・化学合成農薬不使用の有機農業の取り組みを行う営農活動に対して支援			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 事業費 1,267千円 ①農業者2件(9.9ha)②農業者1件(3.5ha)③農業者21件(18.3ha) 平成25年度 事業費 1,366千円 ①農業者4件(12.2ha)②農業者1件(5ha)③農業者21件(19.2ha) 平成26年度 事業費 1,399千円 ①農業者3件(9.8ha)②農業者3件(9.2ha)③農業者22件(20.1ha)			
当初予算額	1,682	【今後の課題・方向性】 環境保全に効果の高い営農活動の普及推進を通じて、農業生産全体のあり方を環境保全を重視したものに転換していくことで、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。		
補正予算額	0	【参考】		
予算流・充用額	0	前年度決算額 1,366		
最終予算額	1,682	評価結果 地球温暖化防止及び生物多様性保全を図るため、取り組みが増加するよう事業を推進する。		
本年度決算額	1,399	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	699	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	700	寄付金	0	
計	1,399	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	

農088	項目名	農道舗装補修等事業費		
主要な施策	農道舗装補修等事業費		ページ	37
年度	H26		所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P180(農078)			
目 農地費	【事業の概要】 農道を整備することにより、農産物や農業用資材等の運搬を効率的に行うことができる。また、農業用水路等を整備することにより、必要な用水量を確保し、排水の能力を高めることで農産物の生産性の向上を図る。 単市事業(鳥取県しつかり守る農林基盤交付金事業) ・負担区分 市80% 地元20% ・事業内容 農道舗装、用排水路の補修・改良等			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 43,721千円 平成25年度 28,833千円 平成26年度 26,454千円			
当初予算額	31,459	【今後の課題・方向性】 過去の大規模な土地改良事業により整備された農業用施設の老朽化が進み、補修箇所も増加しているが、国事業の多面的機能保全事業の実施区域など、同事業の維持管理活動や施設長寿命化対策可能な施設については制度利用を行うなどし、併用しながら事業費の現状維持を図る。		
補正予算額	△1,520	【参考】		
予算流・充用額	0	前年度決算額 28,833		
最終予算額	29,939	評価結果 地元からの要望が継続して出てきており、老朽化している農業施設の中においても重要度の高い施設を中心に補修・維持を継続してゆく。		
本年度決算額	26,454	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	4,645	
国・県支出金	9,564	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	4,645	財産収入	0	
一般財源	12,245	寄付金	0	
計	26,454	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	

農089	項目名	小規模土地改良事業費		
主要な施策	小規模土地改良事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P181(農079)		
目	農地費	【事業の概要】 地元が実施する農業用施設の補修に際し、市から原材料を支給することにより、負担金なしで施工が可能となり、地域で共同して行う土地改良施設の維持管理活動を促進する。 単市事業（鳥取県しっかり守る農林基盤交付金事業） ・負担区分 市100% ・事業内容 地元が実施する農業用施設及び土地改良施設等の補修に対する原材料（生コン、モルタル、砕石等）の支給		
(単位：千円)		【事業の成果】		
当初予算額	11,500	平成24年度 11,970千円 121件		
補正予算額	△1,500	平成25年度 11,244千円 92件		
予算流・充用額	0	平成26年度 8,430千円 93件		
最終予算額	10,000	【今後の課題・方向性】 過去の大規模な土地改良事業により整備された農業用施設の老朽化が進み、補修箇所も増加しているが、国事業の多面的機能保全事業の実施区域など、同事業の維持管理活動や施設長寿命化対策可能な施設については制度利用を行うなどし、併用しながら事業費の現状維持を図る。		
本年度決算額	8,430	【参考】		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		地元対応がある程度可能な地区、施設については原材料の支給により地域農業施設の維持管理を促し、農業基盤維持を支えてゆく。		
国・県支出金	4,192	分担金 0		
地方債	0	負担金 0		
その他	0	使用料 0		
一般財源	4,238	手数料 0		
計	8,430	財産収入 0		
前年度決算額	11,244	寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		

農090	項目名	岩美地区広域農道整備事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P181(農080)		
目	農地費	【事業の概要】 県営岩美地区道整備交付金事業（県営岩美地区広域営農団地農道整備事業） ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成22年度～平成27年度 ・事業費 894,200千円 ・負担区分 国61.0% 県32.3% 市6.7%（起債充当率95%） ・事業内容 農道整備 855m		
(単位：千円)		【事業の成果】		
当初予算額	17,987	(市負担金額)		
補正予算額	6	平成24年度 10,774千円 道路工		
予算流・充用額	0	平成25年度 6,663千円 道路工		
最終予算額	17,993	平成26年度 9,944千円 道路工、舗装工、補強土壁工、道路台帳作成		
本年度決算額	9,944	(翌年度繰越額 8,049千円 舗装工)		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 県事業計画に基づき平成27年度に事業完了予定		
財源内訳		評価結果		
国・県支出金	0	平成27年度事業完了による農道の整備による農業生産基盤の拡充をめざす。		
地方債	9,400	分担金 0		
その他	0	負担金 0		
一般財源	544	使用料 0		
計	9,944	手数料 0		
前年度決算額	6,663	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		贈収入 0		
		その他 0		

農091	項目名	大井手地区集落基盤整備事業費(用水再編型)		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P182(農081)			
目 農地費	【事業の概要】 県営集落基盤整備事業(用水再編型)大井手地区 ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成23年度～平成27年度 ・事業費 480,000千円 ・負担区分 国50% 県30% 市15% 地元5% ・事業内容 ①湖山砂丘畑送水対策(徳吉ポンプ場取水槽、池口揚水機場ポンプ、調整水槽、送水管等整備) ②大井手下流域番水解消対策(転倒堰、スライドゲート、送水管、水路等整備) ・受益戸数 845戸 ・受益面積 220.1ha			
(単位:千円)	【事業の成果】 (市負担金額) 平成24年度 11,230千円 分水樋門設置、水路整備 平成25年度 6,621千円 分水樋門設置 平成26年度 21,929千円 池口揚水機場改修、調整水槽・送水管改修 (翌年度繰越額 2,613千円 池口揚水機場改修)			
当初予算額	25,050	【今後の課題・方向性】 県計画に沿って事業を継続し、用水機能の整備を行う。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	25,050	【参考】		
本年度決算額	21,929	前年度決算額 6,621		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		大井手用水の効率的利用のため、県計画に基づき平成27年度まで実施。		
国・県支出金	0			
地方債	19,600			
その他	0			
一般財源	2,329			
計	21,929			

農092	項目名	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P182(農082)			
目 農地費	【事業の概要】 山上・水根地区地域ため池総合整備事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度～平成28年度 ・事業箇所 河原町山上地区:馬場堤 河原町水根地区:湯坂谷池 ・総事業費 161,000千円 ・負担区分 国55% 県29% 市14%(起債充当率90%) 地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所 ・受益戸数 74戸(馬場堤:73戸、湯坂谷池31戸) ・受益面積 16ha(馬場堤:15ha、湯坂谷池:7ha)			
(単位:千円)	【事業の成果】 (市・地元負担金額) 平成24年度 2,271千円 測量設計 平成25年度 1,951千円 工用道路布設 平成26年度 3,280千円 馬場堤ため池改修			
当初予算額	4,720	【今後の課題・方向性】 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,720	【参考】		
本年度決算額	3,280	前年度決算額 1,951		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。		
国・県支出金	0			
地方債	2,500			
その他	410			
一般財源	370			
計	3,280			

農093	項目名	鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所属名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P183(農083)		
目	農地費	【事業の概要】 鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24～27年度 ・事業箇所 鹿野町鹿野地区：糸録池 鹿野町今市地区：馬ノ池 ・事業費 166,000千円 ・負担区分 国55% 県29% 市14% 地元2% ・事業内容 ため池改修2箇所(糸録池・馬ノ池) ・受益 戸数：82戸(糸録池33戸、馬ノ池49戸) 面積：39.8ha(糸録池17ha、馬ノ池22.8ha)		
(単位：千円)		【事業の成果】 (市・地元負担金額) 平成24年度 1,896千円 測量設計 平成25年度 10,766千円 馬ノ池改修工事 平成26年度 121千円 測量設計		
当初予算額	1,440	【今後の課題・方向性】 継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,440	【参考】		
本年度決算額	121	前年度決算額 10,766		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		県計画に沿って平成27年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	15			
一般財源	106			
計	121			

農094	項目名	福部地区特定農業用管水路等特別対策事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所属名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P183(農084)		
目	農地費	【事業の概要】 福部地区特定農業用管水路等特別対策事業費 ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成24～29年度 ・事業費 550,000千円 ・負担区分 国50% 県34% 市9%(起債充当率90%) 地元2% ・事業内容 石綿管更新 L=7,504m ・受益 戸数：286戸 面積：88ha		
(単位：千円)		【事業の成果】 (市負担金額) 平成24年度 2,064千円 管路整備 平成25年度 7,923千円 管路整備 平成26年度 2,700千円 管路整備		
当初予算額	2,700	【今後の課題・方向性】 県計画に基づき平成29年度まで継続して管路整備を行う。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,700	【参考】		
本年度決算額	2,700	前年度決算額 7,923		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		県計画に基づき平成29年度まで実施、石綿管の早期取替により住民の健康被害を防止する。		
国・県支出金	0			
地方債	2,400			
その他	0			
一般財源	300			
計	2,700			

農095	項目名	河原町三谷地区地域ため池総合整備事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】			
目 農地費	予算事業別概要目次			
(単位：千円)	当初予算・P184(農085)			
当初予算額	1,280	【事業の概要】		
補正予算額	0	三谷地区地域ため池総合整備事業		
予算流・充用額	0	・実施主体 鳥取県		
最終予算額	1,280	・事業年度 平成25年度～平成28年度		
本年度決算額	270	・河原町三谷地区：追作堤、古池		
区分	決算額	・事業費 183,000千円		
財源内訳	0	・負担区分 国55% 県29% 市14% (起債充当率90%) 地元2%		
国・県支出金	0	・事業内容 ため池改修2箇所 ・ハザードマップ作成2箇所		
地方債	200	【事業の成果】		
その他	34	(市・地元負担金)		
一般財源	36	平成24年度 1,587千円 事業調査費負担金		
計	270	平成25年度 2,802千円 測量設計		
		平成26年度 270千円 工用道路布設		
		【今後の課題・方向性】		
		継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	2,802	県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。		

農096	項目名	因幡白兔地区地域ため池総合整備事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】			
目 農地費	予算事業別概要目次			
(単位：千円)	当初予算・P184(農086)			
当初予算額	5,920	【事業の概要】		
補正予算額	0	因幡白兔地区地域ため池総合整備事業		
予算流・充用額	0	・実施主体 鳥取県		
最終予算額	5,920	・事業年度 平成25年度～平成28年度		
本年度決算額	5,684	・事業箇所 小沢見(堂出池)、白兔(三反田池)、御熊(岡ノ谷溜池)		
区分	決算額	・事業費 193,000千円		
財源内訳	0	・負担区分 国55% 県29% 市14% (起債充当率90%) 地元2%		
国・県支出金	0	・事業内容 ため池改修2箇所(三反田池、堂出池)		
地方債	4,400	ハザードマップ作成3箇所(三反田池、堂出池、岡ノ谷溜池)		
その他	711	【事業の成果】		
一般財源	573	平成24年度 1,746千円 事業調査費負担金		
計	5,684	平成25年度 2,396千円 測量設計		
		平成26年度 5,684千円 三反田池ため池改修		
		(翌年度繰越額 236千円 三反田池ため池改修)		
		【今後の課題・方向性】		
		継続してため池改修を行い、防災安全度を向上させる。		
(参考)		評価結果		
前年度決算額	2,396	県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。		

農097	項目名	今在家地区農業水利施設保全合理化事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P185(農087)			
目 農地費	【事業の概要】 今在家地区農業水利施設保全合理化事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成26年度～平成28年度 ・事業箇所 高瀬堰 ・事業費 150,000千円 ・負担区分 国55% 県27.5% 市10%(起債充当率90%) 地元7.5% 負担按分(鳥取市:八頭町=85.7%:14.3%) ・事業内容 樋門改修			
(単位:千円)	【事業の成果】 (市・地元負担金額) 平成26年度 2,098千円 測量設計			
当初予算額 2,989	【今後の課題・方向性】 県の計画に沿って事業継続を行い、水利施設の保全合理化を図る。			
補正予算額 △889				
予算流・充用額 0				
最終予算額 2,100	その他の財源の内訳			
本年度決算額 2,098	分担金	0		
	負担金	899		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	0		
	その他	0		
区分 決算額				
財源内訳 国・県支出金	0			
地方債	1,000			
その他	899			
一般財源	199			
計	2,098			
(参考)	評価結果	県計画に沿って平成28年度まで、水利施設の整備が必要とされる。		
前年度決算額	0			

農098	項目名	大口堰農業水利施設保全合理化事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P185(農088)			
目 農地費	【事業の概要】 大口堰農業水利施設保全合理化事業 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成26年度～平成29年度 ・事業箇所 大口堰 ・事業費 376,700千円 ・負担区分 国50% 県27.5% 市10%(起債充当率90%) 地元12.5% ・事業内容 頭首工 土砂吐改修 自動転倒ゲートW10m×H1.9m			
(単位:千円)	【事業の成果】 (市負担金額) 平成26年度 996千円 測量設計 (翌年度繰越額 1,405千円 測量設計)			
当初予算額 2,700	【今後の課題・方向性】 県の計画に沿って事業継続を行い、水利施設の保全合理化を図る。			
補正予算額 0				
予算流・充用額 0				
最終予算額 2,700	その他の財源の内訳			
本年度決算額 996	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	0		
	その他	0		
区分 決算額				
財源内訳 国・県支出金	0			
地方債	800			
その他	0			
一般財源	196			
計	996			
(参考)	評価結果	県計画に沿って平成29年度まで継続して実施。		
前年度決算額	0			

農099	項目名	大口堰農村地域防災減災事業費		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】			
目 農地費	予算事業別概要目次			
(単位：千円)	当初予算・P186(農089)			
当初予算額	800	【事業の概要】		
補正予算額	0	大口堰農村地域防災減災事業		
予算流・充用額	0	・実施主体 鳥取県		
最終予算額	800	・事業年度 平成26年度～平成29年度		
本年度決算額	240	・事業箇所 大口堰		
区分	決算額	・事業費 332,700千円		
財源内訳	0	・負担区分 国55% 県37% 市8%(起債充当率90%)		
国・県支出金	0	・事業内容 護床工(護床ブロック)一式		
地方債	200	【事業の成果】		
その他	0	(市負担金額)		
一般財源	40	平成26年度 240千円 測量設計		
計	240	(翌年度繰越額 560千円 測量設計)		
(参考)		【今後の課題・方向性】		
前年度決算額	0	県計画に沿って事業を継続し、防災力の向上を目指す。		
		評価結果		
		県計画に沿って平成29年度まで継続して実施する。		

農100	項目名	梶掛地区農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費		
主要な施策	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】			
目 農地費	予算事業別概要目次			
(単位：千円)	当初予算・P186(農090)			
当初予算額	31,325	【事業の概要】		
補正予算額	0	土水路にコンクリート二次製品を布設し、水路整備を実施することにより、維持管理の省力化や経費縮減、効率的な営農作業が可能となり、農地の利用集積を図る。		
予算流・充用額	0	梶掛地区農山漁村活性化プロジェクト交付金事業		
最終予算額	31,325	・事業年度 平成23年度～平成26年度		
本年度決算額	9,578	・事業費 115,000千円		
区分	決算額	・負担区分 事業費：国55% 県12.5% 市25% 地元7.5%		
財源内訳	6,440	・事業内容 実施設計、水路整備L=6,085m		
国・県支出金	0	【事業の成果】		
地方債	0	平成23年度 13,973千円 測量設計		
その他	726	平成24年度 33,125千円 水路改修		
一般財源	2,412	平成25年度 6,825千円 水路改修		
計	9,578	平成26年度 9,578千円 水路改修		
(参考)		(翌年度繰越額 21,747千円 水路改修)		
前年度決算額	6,825	【今後の課題・方向性】		
		平成27年度への繰越分を以て施工を終了する。		
		評価結果		
		平成27年度への繰越分施工が完了し次第事業完了。		

農101	項目名	農業基盤整備促進事業費		
主要な施策	農業基盤整備促進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P48(農015)		
目	農地費	【事業の概要】 地域の農業において重要な役割を果たしている農業用施設について、老朽化施設の更新、用排水施設の増設等の農業水利施設の整備、暗渠排水等の農地の整備をきめ細かく実施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに経営規模の拡大や、戦略作物・地域振興作物の生産を促進し農業所得の向上にも資する。 〈6法地域〉負担区分 国55% 県15% 地元15% 市15% 〈6法地域以外〉負担区分 国50% 県15% 地元20% 市15%		
(単位:千円)		【事業の成果】 平成24年度 42,822千円 用排水改修工事5箇所 換地業務1箇所 転倒ゲート1箇所 測量設計1箇所 ほ場改修1箇所 平成25年度 5,230千円 用水改修2箇所 平成26年度 26,046千円 用水改修4箇所 測量設計1箇所 (翌年度繰越額 8,909千円 用水改修3箇所)		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部営農活動に支障が出ている箇所もある。今後も老朽化箇所の改修を年次ごとに実施してゆく必要がある。実施箇所を検討しながら農業基盤の整備により農業生産活動の安定化を図ってゆく。		
補正予算額	35,451	【参考】		
予算流・充用額	0	評価結果 地元等からの要望を受けて今後の実施箇所を検討し、農業基盤の整備により農業生産活動の安定を図る。		
最終予算額	35,451	その他財源の内訳		
本年度決算額	26,046	分担金	0	
区分	決算額	負担金	4,029	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	17,026	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	4,029	寄付金	0	
一般財源	4,991	繰入金	0	
計	26,046	贈収入	0	
		その他	0	

農102	項目名	ため池ハザードマップ作成事業費		
主要な施策	ため池ハザードマップ作成事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P188(農093)		
目	農地費	【事業の概要】 ため池ハザードマップを作成・整備することにより、災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、災害による被害の低減を図る。また、作成の過程で地域住民自らが地域の危険箇所を知ることができたり、あるいは災害時の対処方法を検討することで日頃の防災意識を高める。 負担割合・国補助100%		
(単位:千円)		【事業の成果】 平成26年度 4,860千円 ハザードマップ7箇所		
当初予算額	5,000	【今後の課題・方向性】 平成27年度も引き続き危険箇所のため池ハザードマップの作成を行う。		
補正予算額	0	【参考】		
予算流・充用額	0	評価結果 平成27年度においても継続してハザードマップを作成する必要がある。		
最終予算額	5,000	その他財源の内訳		
本年度決算額	4,860	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	4,860	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	0	繰入金	0	
計	4,860	贈収入	0	
		その他	0	

農103	項目名	多面的機能支払交付金		
主要な施策	多面的機能支払事業費		ページ	37
年度	H26		所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位：千円)				
当初予算額	0			
補正予算額	48,416			
予算流・充用額	0			
最終予算額	48,416			
本年度決算額	48,265			
区 分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	48,265		
	計	48,265		
その他財源の内訳	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収金	0		
	その他	0		
(参考)	前年度決算額	0		
評価結果	取り組みを一層推進し、地域資源の保全管理や施設の長寿命化の促進による農業・農村の多面的機能のさらなる発揮を図る。			
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241				
【9次総の施策体系】5101				
【予算計上の経過】				
予算事業別概要目次				
6月補正予算・P48(農016)				
【事業の概要】				
農業・農村の有する多面的機能を支える地域の共同活動、農用地・水路・農道等の地域資源の質的向上を図る活動に対する支援を行い、多面的機能が適切に維持・発揮されることを目的とする。				
＜農地維持支払交付金＞				
農用地・水路・農道等の地域資源の基礎的な保全活動、地域資源の適切な保全管理のための推進活動				
＜資源向上支払交付金(地域資源の質的向上を図る共同活動)＞				
施設の軽微な補修、農村環境保全活動、多面的機能の増進を図る活動				
＜資源向上支払交付金(施設の長寿命化のための活動)＞				
農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の活動				
【事業の成果】				
平成26年度				
(負担区分：国50%、県25%、市25%)				
＜農地維持支払交付金＞				
事業費：18,027千円 組織数：136組織 面積：247,370a				
＜資源向上支払交付金(地域資源の質的向上を図る共同活動)＞				
事業費：8,965千円 組織数：117組織 面積：228,133a				
＜資源向上支払交付金(施設の長寿命化のための活動)＞				
事業費：21,273千円 組織数：104組織 面積：202,662a				
【今後の課題・方向性】				
取り組みを一層推進し、地域資源の保全管理や施設の長寿命化の促進による農業・農村の多面的機能のさらなる発揮を図る。				

農104	項目名	中山間地域等直接支払交付金		
主要な施策	中山間地域等直接支払事業費		ページ	37
年度	H26		所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業構造改善事業費			
(単位：千円)				
当初予算額	111,627			
補正予算額	104			
予算流・充用額	0			
最終予算額	111,731			
本年度決算額	111,730			
区 分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	82,368		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	29,362		
	計	111,730		
その他財源の内訳	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収金	0		
	その他	0		
(参考)	前年度決算額	111,627		
評価結果	第三期対策は平成26年度にて終了。第四期対策事業にて事業の継続を行う。			
<b>事業の概要</b>				
【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241				
【9次総の施策体系】5101				
【予算計上の経過】				
予算事業別概要目次				
当初予算・P188(農094)、12月補正予算・P31(農011)				
【事業の概要】				
○中山間地域等直接支払事業の第3期対策(通算15年目)				
条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施すること、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。				
(1)対象地域				
特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地(田1/20以上、畑15度以上)及び急傾斜地に物理的に連担する緩傾斜(田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上)で面的まとまりのある農用地等。				
(2)対象者				
集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う農業者。				
(3)事業実施期間				
平成22年度～平成26年度(第3期)				
【事業の成果】				
平成24年度 協定数142協定 交付金 111,487千円				
平成25年度 協定数142協定 交付金 111,627千円				
平成26年度 協定数142協定 交付金 111,730千円				
【今後の課題・方向性】				
第4期対策に向けて中山間地の農地保全活動を継続する。				

農105	項目名	補助災害復旧費		
主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	49	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 災害復旧費	【9次総の施策体系】 5101			
項 災害復旧費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P19(農007)、9月追加補正予算・P3(農002)、 12月補正予算・P31(農012)			
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の概要】 平成26年6月12日の豪雨、平成26年8月15日から17日にかけての豪雨および台風19号によって農地、農業用施設が被害を受けており復旧が必要になっている。農業経営への影響を最小限に留めるため、可能な限り早期の復旧を行い、災害からの復旧を図る。 <平成26年6月12日豪雨災害> 農地 1箇所 事業費 1,384千円 <平成26年8月15日～17日豪雨災害> 農地 4箇所 事業費 6,286千円 農業用施設 1箇所 事業費 1,722千円 <台風19号> 農地 2箇所 事業費 5,879千円 農業用施設 1箇所 事業費 4,197千円			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成26年度 5,133千円 災害復旧にかかる測量設計、復旧工事 (翌年度繰越額 13,017千円 災害復旧工事)			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 営農活動に支障が出ないように早期の復旧を行う。		
補正予算額	19,468	評価結果		
予算流・充用額	0	早期の復旧工事を行い、営農活動への影響を最小限に留める。		
最終予算額	19,468	【参考】		
本年度決算額	5,133	前年度決算額 20,063		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		早期の復旧工事を行い、営農活動への影響を最小限に留める。		
国・県支出金	1,998	前年度決算額 20,063		
地方債	600			
その他	0			
一般財源	2,535			
計	5,133			

農106	項目名	単独災害復旧費		
主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	49	所 属 名
年度	H26	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 基盤整備係 0857-20-3244			
款 災害復旧費	【9次総の施策体系】 5101			
項 災害復旧費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P19(農008)、12月補正予算・P32(農013)			
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の概要】 平成26年6月12日の豪雨、平成26年8月15日から17日にかけての豪雨および台風19号によって農地、農業用施設が被害を受けており復旧が必要になっている。農業経営への影響を最小限に留めるため、可能な限り早期の復旧を行い、災害からの復旧を図る。 <平成26年6月12日豪雨災害> 農業用施設 1箇所 事業費 1,319千円 <平成26年8月15日～17日豪雨災害> 農地 5箇所 事業費 1,860千円 農業用施設 7箇所 事業費 2,070千円 <台風19号災害> 農地 6箇所 事業費 2,780千円 農業用施設 9箇所 事業費 6,020千円			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成26年度 3,276千円 災害復旧修繕 (翌年度繰越額 10,773千円 災害復旧修繕)			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 早期の復旧完了により営農活動への影響を最小限に留める。		
補正予算額	14,049	評価結果		
予算流・充用額	0	被災箇所の早期復旧で営農活動に支障をきたさないようにする。		
最終予算額	14,049	【参考】		
本年度決算額	3,276	前年度決算額 22,721		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		被災箇所の早期復旧で営農活動に支障をきたさないようにする。		
国・県支出金	995	前年度決算額 22,721		
地方債	700			
その他	286			
一般財源	1,295			
計	3,276			